

令和 8 年度国内肥料資源利用拡大対策事業に係る肥料製造施設工事

設 備 図 面

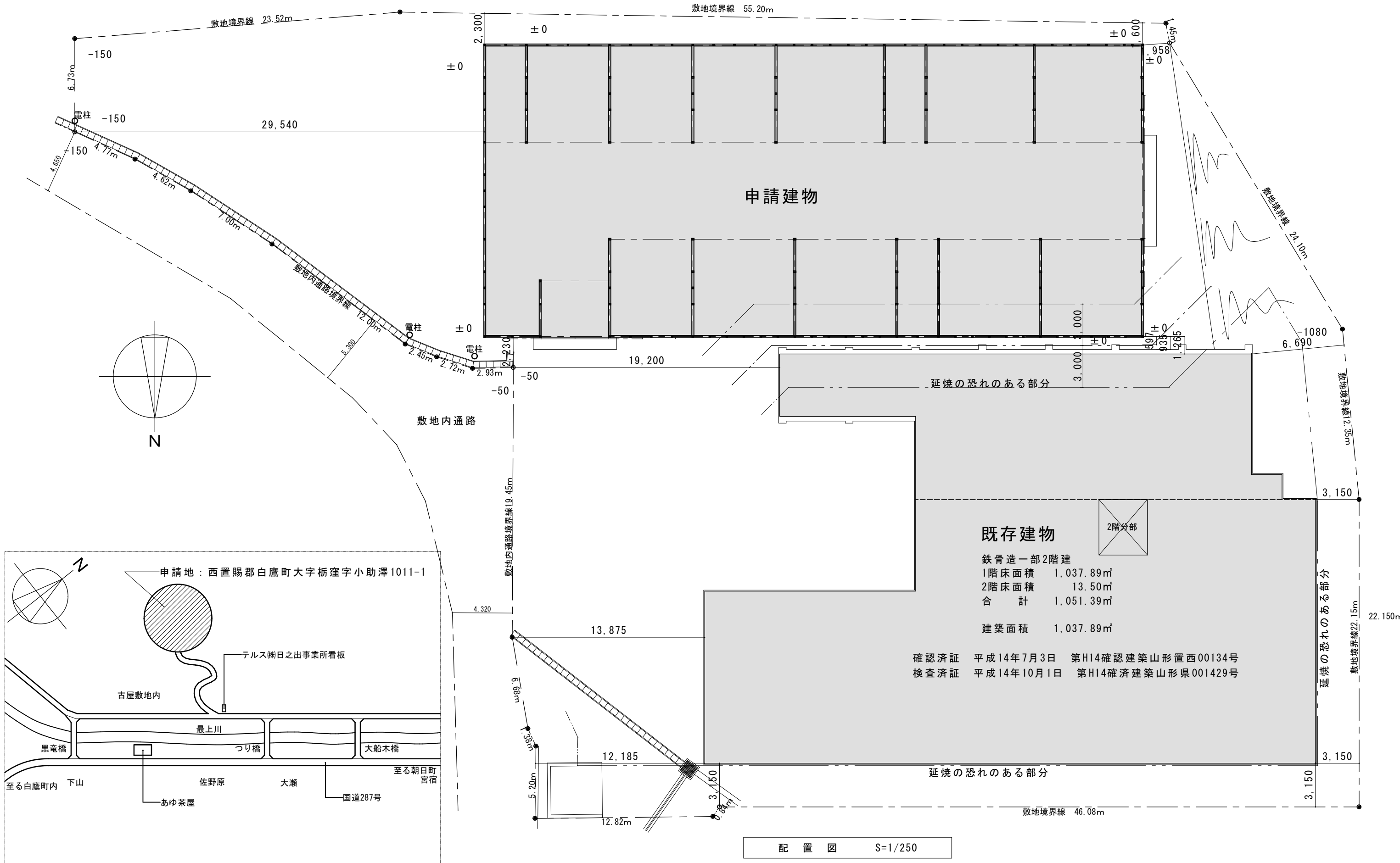
(テルス株式会社)

0 0 特記仕様書の取扱いについて					0 2 仮 設 工 事										0 6 鉄 筋 工 事																								
1. 項目は、項目番号に○印をつけたものを適用する。 2. 細目は、○印をつけたものを適用する。 3. その他、特記事項は（ ）内に記載する。 4. 製造会社、施工会社指定については、後欄のメーカーリストに依るものとし、同等品以上と読み替える事も可能である。但し、その使用、採用に当たっては係員の承認を受けるものとする。					① 仮 囲 い ○構造：・鋼版製 ・木製 ○その他（単管 <i>マッシュ</i> H=1,800） ・高 さ：・1.5M ・1.8M ・3M以上 ・その他（ ・仕 上：・仕上なし ・ペイント仕上 ・その他（ ○範囲：道路面、および安全上必要と思われる範囲とする。 ・意 匠： ② 係 員 詰 所 ・構造：・プレハブ造 ・木造 ・その他（ ・規 模：・10㎡内外 ・20㎡内外 ・35㎡内外 ・その他（ ・備 品：・机、椅子、書類及び図面棚、図板、定規、黒板、 温湿度計、テストハンマー、ノギス、安全帽、 来客用安全帽、長靴、水平垂直器、ロッカー ・その他（ ・設 備：・電灯 ・給排水、給湯設備 ・電話 ・冷蔵庫 ・消火器 ・インターホン ・クーラー ・その他（ ・係員詰所は工事打合わせに便利のように請負事務所に隣接して建てる。 詰所に係る諸経費は、一切請負者の負担とする。 ③ 看 板 ・本工事現場に掲示する看板は、大きさ、書体、仕上げ、取付位置など あらかじめ係員と協議する。 ・利用できる（ ・有償 ・無償 ） ・利用できない。 ④ 工事用水電力 ⑤ 障害物の処理 ⑥ 設計 G. L. ⑦ 保護設備					④ 割栗 及び 砂利地業 5. ラップル コンクリート地業 ⑥ 捨コンクリート 地業 7. ポリエチレン シート敷き 8. 特殊工法					○地業の種類：・割栗 ・砂 ・砂利 ○碎石 ・その他（ ○厚さ： 150 mm ・コンクリートの調合：セメント1・砂3・砂利6（容積比） ・コンクリートと玉石の比率： ・1：1 ・その他（ ○厚さ： 50 mm ○設計基準強度：Fe = 18N ・不要 ・必要 厚0.15mm（内部土間コンクリート下のみ） ・地盤改良工法（構造図特記による）					① 一 般 事 項 ○鉄筋の使用範囲は、構造設計図による。 ○鉄筋の継手及び補強配筋等については、共通仕様書の他に構造設計図 記載の、基準詳細図等を優先とする。 ○鉄筋の加工、組立に際しては、あらかじめ鉄筋加工図を作製し、係員 の承認を受ける。 ・普通鉄筋： S R （規格品） ○異形鉄筋：○S D 295 A （規格品） ・S D 345 （規格品） ・S D （規格品） ・S D （規格品） ・その他（ ③ 継 手 ○種 類：○ガス圧接継手（・16φ以上 ○19φ以上） ○重ね継手 ・アーク溶接継手 ・その他（ ④ 鉄筋スプーサー ○種 類：○金属製 ○モルタル製 ○塩ビ製 ・その他（																			
0 1 一 般 共 通 事 項										0 5 コ ン ク リ ー ト 工 事					0 7 鉄 骨 工 事																								
① 適 用 範 囲	○本特記仕様書は、各共通仕様書及び補足事項に記載なき事項を特記する ものであり、各工事において、他の工事との関連ある事項は、各々該当 の記載事項を参照する。									① 鉄筋 コンクリート					○コンクリートの種別：○普通コンクリート ・早強コンクリート ・その他（ ○設計基準強度： ・Fe = 18N ○Fe = 21N 国土交通省 公共建築工事標準仕様 による ・Fe = 24N ・その他（ ○混 和 剤 等：○減水剤 ・防錆剤 ・その他（ ○粗 骨 材：○川砂利 ・碎石 ・その他（ ○細 骨 材：○川砂 ・山砂 ・その他（ ○コンクリートの供給：○レディーミクストコンクリート ・現場コンクリート ・その他（ ○水セメント比：○60° /wt以下 ・70° /wt ・その他（					1. 一 般 事 項					・使用範囲及び区分は、構造設計図による。 ・鉄骨の継手、仕口及び補強部分その他については、共通仕様書の他に 構造設計図記載の、基準詳細図等を優先する。 ・工作図または、原寸図（型板および定規を含む）を作成し、係員の検 査を受ける。														
② 疑 義	○本工事の設計図書に関する疑義は、工事契約前に質疑応答書をもって確 かめておくものとする。 ○設計図書に記載なくとも、外観上、構造上、設備上当然必要と認められ るものは、係員の指示に従い、請負金額の範囲内において施工するもの とする。									2. 軽量 コンクリート （構造用）					2. 普 通 鋼					・形鋼・鋼板：・SS400 ・SN400B ・その他（ ・軽量形鋼：・SSC400（規格品） ・鋼 管：・STK400 ・STKR400 ・BCR295 ・高力ボルト：・F8T ・F10T ・F12T ・S10T ・普通ボルト：SS41とし等級は中ボルト程度とする。 ・リベット：SV41A（規格品） ・溶接材料：JIS・Z・3211規格に適合するもの。 ・防錆塗装：素地調整の程度 ・第一種ケレン（ブラスト法） ・第二種ケレン（機械的作業） ・第三種ケレン（手工具作業） ：錆止塗装は、仕上塗装種別に応じた同系錆止塗料とする。 ：塗装回数は、工場1回、現場1回、但し組立後塗装不可能 な部分は、工場2回塗りとする。 ・仕上塗装：・オイルペイント ・グラファイトペイント ・その他（合成樹脂調合ペイント、フッソ樹脂塗装）																			
③ 優 先 順 位	○本工事の設計図書等の優先順位は、下記による。 1. 現場説明事項（質疑応答書を含む） 2. 特記仕様書 3. 各設計図 4. 共通仕様書 5. 公共規格及びこれに準ずる規格									3. 寒中 コンクリート					3. 耐 候 性 高 強 力 鋼					・銅 材：・SPA H/C ・SM50A/B/C ・SM50BC ・その他（ ・高力ボルト：・F8T ・F10T ・F12T ・使用材料：・裸使用 ・表面処理（ ・ウェザーコートⅠ ・ウェザーコートⅡ ・その他（ ・溶接材料： JIS・Z・3212規格に適合するもの。																			
④ 材 料 試 験	○本工事に使用する材料のうち、係員による指示のあるものに関してはそ の成績表を提出し、又は係員の認める試験場で試験を行い、確認を受け なければならない。なお試験に要する諸経費は、すべて請負業者の負担 とする。									4. 無筋 コンクリート					4. 工 法					・ボルト工法 ・溶接工法（アーク溶接） ・その他（																			
⑤ 提 出 図 書	○本工事の施工に伴う提出図書は、下記に定める他、必要に応じて係員と 協議の上、作成するものとする。									5. 軽量 コンクリート （非構造用）					5. 溶 接 部 の 試 験					・試験の種別：・超音波探傷試験 ・X線検査 ・その他（																			
	提出図書	部数	提出時期	備 考	0 3 土 工 事					⑥ 型 枠					6. 溶 接 工 の 技 量 確 認					7. 試 作 品																			
	1. 工事請負契約書		契約時	控えとなるもの	① 根 切 り					① 鉄 筋					○材 料：○合板（厚 12 mm） ・緑甲板（厚 mm） ・金属製型枠パネル ○その他（塗装合板 厚 12 mm） ○工 法：○ボルト式 ・番線式 ・その他（ ○剥 離 剤：・使用不可 ○使用可（ ○存 置 期 間：○建設省告示等110号による。 ・打放しコンクリート仕上りのかぶり厚度：・20mm ・その他（特記による。） ○コンクリート面の仕上り程度：・目違い不陸等極めて少ない 良好な面とする。 ○目違い不陸等の少ない良好な面とする。 ・打放しのままとし目違いばらいを行う。 ○木コン等による穴の仕上：打放し仕上げの場合、保水剤入りモルタルを 詰める。 ○面うちに仕上げる。 ・コンクリート面に合わせ仕上げる。					1. 一 般 事 項					○コンクリート面の仕上り程度：・目違い不陸等極めて少ない 良好な面とする。 ○目違い不陸等の少ない良好な面とする。 ・打放しのままとし目違いばらいを行う。 ○木コン等による穴の仕上：打放し仕上げの場合、保水剤入りモルタルを 詰める。 ○面うちに仕上げる。 ・コンクリート面に合わせ仕上げる。					7. 試 験					・採取した試験体は工事現場等、請負業者の直接管理下にある場所に保管する。 ・コンクリートの圧縮強度試験は、公認の試験場に於いて行うことを原則とする。				
	2. 工事工程表		契約後速やかに		2. 敷 地 整 理					② 型 枠					6. 溶 接 工 の 技 量 確 認					7. 試 作 品																			
	3. 現場代理人及び主任技術者届		〃		③ 埋 戻 し、盛 土					③ 型 枠					5. 溶 接 部 の 試 験					・必要 ・不必要																			
	4. 協力業者名簿		〃		④ 残 土 処 分					④ 型 枠					6. 溶 接 工 の 技 量 確 認					7. 試 作 品																			
	5. メーカーリスト		〃																																				
	6. 仮設計画書		〃																																				
	7. 施工図、製作図		実施15日前																																				
	8. 工事工程報告書		1ヶ月毎																																				
	9. 打合議事録		その都度																																				
	10. 変更工事見積書		〃																																				
	11. 出来高承認願い		〃																																				
	12. 官公署届出書類控		〃																																				
	13. 材料試験報告書		試験後10日以内																																				
	14. 工事竣工届		竣工時																																				
	15. 工事竣工引渡書		〃																																				
	16. 工事竣工図		竣工時より20日																																				
	17. 工事竣工写真		〃																																				
	18. 工事保証書		竣工時																																				
	19. 鍵リスト		〃																																				
	・工事竣工図は、黒表紙金文字入製本とし、二部提出する。（A3版） ・竣工写真は、建築写真家によるものとし、アルバム貼付にて提出の事																																						
⑥ 定例打合会議	○工事の円滑な進행을計るため、係員の指示により工事期間中定期的に各 工事責任者を招集し、打合せを行うものとする。 ○請負者は、定例打合会議々事録をとり、その都度係員の承認を得るもの とする。									① 地耐力試験					① 運 搬 及 び 打 込																								
7. 既設部分との 取合	・既設建物と今回工事の取り合い部分、その他で、はつり及び工事の都合 などにより破損、損傷させた箇所は今回工事仕上げ及び、旧工事、仕上 同材にて完全に補修しなければならない。									2. 既設机地業																													
⑧ 別 途 工 事	○別途工事についての工事工程ならびに納まり等に関して、別途工事業者 と密接に連絡し、調整に当たらなければならない。									3. 場所打 コンクリート地業																													
⑨ 工事保証 その他	○建物竣工引渡し後 1年以内において工事不良のため、生じたと認め られる損害は、請負者の負担にて敏速丁寧に復旧する。 ○本工事施工に際しては、本工事場所が工事による騒音、振動などについ て地域規制されていないかを確認め、規制されている場合は、規制に従 い施工計画を立て、関係官庁の指導を受ける。 ○その他（契約書による。）									① 不要 ・必要（サンプル採取による土質確認） ・長期支持力 KN/㎡（構造図による） ・杭の種類：・RC杭 ・PC杭 ・その他（ ） ・長 さ 等：詳細については構造設計図特記による。 ・試 験 杭：詳細については構造設計図特記による。 ・工 法： ・杭の種類：・アースドリル杭 ・ベノト杭 ・深礎工法 ・その他（ ・長 さ 等：詳細については構造設計図特記による。 ・使用鉄筋：詳細については構造設計図特記による。 ・コンクリート：詳細については構造設計図特記による。 ・積荷試験：・不要 ・必要 ケ所																													

工事名称	テルス株式会社日之出事業所堆肥化施設新築工事	SCALE	日付	N O.
図面名称	特記仕様書（１）		R07. 06	
	寒 河 江 設 計 一級建築士事務所登録 山形県知事（1212）第2117号 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲	作図建築士 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲		A-01
その他の設計士				

16 建 具 工 事		18 内 装 工 事				● メーカーリスト	
① アルミ建具	○種類：○レディーメード製品 ・イージーオーダー製品 ・オーダーメード製品 ・その他（ ○型式：○レギュラー ・セミエアータイト ・エアータイト ・その他（ ○仕上： ・アルマイト仕上 ・自然発色皮膜 ○電解着色皮膜 ・その他（	① 一 般 事 項	○本工程に使用する材料は、J I S規格品とする。但し特殊材料はこれに準拠し前もって見本品を提出したり、見本張りを行い、係員の承認を受けることとする。 ・本工程に使用する合板は図示なき限り、塗装下地の場合はシナ合板、その他はラワン、等級は4級とする。又水場廻りに使用する合板は、タイプI耐水合板とする。 ・目隠し貼りの受材面は、特記なき限り、巾広の綿テープ張りを施す。	3. 黒板掲示板	・材質： ・スチール ・アルミ ・ホーロー鋼板 ・その他（ ・ 枠 ： ・アルミ ・スチール ・木製 ・形状： ・平面 ・曲面 ・上げ下げ式 ・ 映写スクリーン内蔵型 ・寸法： 特記による。	1. 既 製 杭	J I S規格品
	② 鋼 製 建 具		2. 合成樹脂系床材	4. 屋 上 丸 環	・材質： ・亜鉛メッキ ・ステンレス ・その他（	2. 鉄 筋	
	3. ステンレス製建具		3. フローリング材	5. 避 難 器 具	・型式：避難ハッチ ・材質：ハッチ本体（ステンレス） はしご（スチール）	3. セ メ ント	
	4. シャッター		4. カーペット	6. 番 拭 マ ッ ト	・材質： ・ステンレス（枠：ステンレス） ・硬質アルミ（枠：アルミ） ・ ノーマッドマット（枠：ステンレス）	4. レディミクスト コンクリート	
5. 自動扉装置	・種類： ・レディーメード製品 ・オーダーメード製品 ・仕 上： ・ヘアーライン仕上 ・バフ仕上 ・エッチング仕上 ・ミラー仕上 ・その他（ ・曲げ加工： ・普通曲げ ・角出し曲げ ・その他（	5. 畳	5. フローリング材	7. 可動間仕切	・種類： ・アコーデオンドア ・ルーバードア ・ パネルパーティション ・その他（スライディングウォール）	5. 混 和 剤	J I S規格品
	6. 木製建具		6. 特殊合板	8. カーテンレール	・材質： ・ステンレス ・アルミ ・プラスチック ・型式： ・シングル ・ダブル ・その他（	6. 鋼 材	J I S規格品
	7. 建具金物		7. 吸音板	9. ブラインド	・材質： ・ステンレス ・アルミ ・プラスチック ・型式： ・たて製 ・よこ製（スラット巾： 25 mm）	7. 高力ボルト	J I S規格品
	8. 建具周囲のシーリング材		8. 壁装材	10. 流 し 台	・種類： ・既製品 ・特注 ・その他（ ・材質： ・F R P ・ポリエステル ・ホーロー ・ ステンレス ・人造大理石	8. 鉄骨製作工場	
9. 網戸	・網の種類： ・サラン ・ステンレス ・グラスファイバー ・その他（	9. 石膏その他のボード張り	9. 石膏その他のボード張り	11. 浴 槽	・材質： ・ステンレス ・アルミ ・スチール	9. 外 壁 材	
	⑩ ガ ラ ス		10. 断 熱 材	12. 旗 竿 金 物		10. 防 水 材	
	①種類：設計図によるものとし、指定製造会社の製品とする。 ○ガラス取付材料： ・ビニール製ビード ○ポリサルファイド系シール材 ・硬化性ガラスパテ ・ネオフレンジッパースケット ・その他（		11. 既製間仕切	20 外 構 工 事	1. 一 般 事 項	11. シ ー ル 材	
	17 塗 装 工 事		12. そ の 他	2. 舗 装	・工事範囲等は設計図による他、係員の指示によるものとする。 ・種別： ・アスファルト舗装（ ・混合式 ・浸透式 ） ・コンクリート舗装（ ・有筋 ・無筋 ・溶接金鋼入 ・砂利撒舗装：切込砂利 mm 撒布砂利 mm	12. タ イ ル	
① 一 般 事 項	○床地調整及び塗装工程は、共通仕様書による。 ・塗装業者は、日本塗装工業会会員とする。	19 雑 工 事	1. 室名札 階数表示	3. フェンス	・種別： ・ネットフェンス ・エキスパンドメタルフェンス ・その他（ ・高さ： H＝ mm	13. 屋 根 材	
	2. 防 火 材 料		2. 郵便受口	4. 塀	・種別： ・万代塀 ・コンクリートブロック塀 ・その他（コンクリート塀） ・高さ： H＝1,500、1,800 mm ・仕上：（化粧打放し、土壁コート吹付）	14. 鋼 製 下 地	
	3. 合成樹脂・エマルジョンペイント壁			5. 境界石	・型式： ・歩車道境界用既製ブロック ・その他（	15. 階段ノリツブ	
	4. マスチック塗			6. 敷地内排水溝	・種別： 溝 ・既製U字側溝 ・既製L字側溝 ・現場打コンクリート溝 ・その他（ 蓋 ・コンクリートブロック製 ・鋳鉄製 ・その他（鋼製グレーチング）	16. 床、天井点検口	
5. 特殊塗料	・種類： ・使用箇所：			7. 植 栽	・植栽：風除け支柱の種類 ・三脚 ・四脚 ・鳥居形 ・補償期間：新植、移植および芝張りの補償期間 引渡し日より 1 年間 ・芝張り：種別 ・野芝 ・高らい芝 ・その他 客土 ・不要 ・要 200 mm	17. 排水金物 マンホール	
						18. グレーチング	
						19. アルミ製建具	
						20. 鋼製建具	
						21. ステンレス製建具	
						22. シャッター	
						23. 建具金物	
						24. 錠 前	
						25. ガ ラ ス	
						26. 塗 料	
						27. フロアー	
						28. カーペット	
						29. ビニル床材	
						30. 塗 床 材	
						31. 石膏ボード	
						32. 石綿レート材	
						33. 岩面吸音板	
						34. 流 し 台 類	

工事名称	テルス株式会社日之出事業所堆肥化施設新築工事	SCALE	日付 R07. 06	NO.
図面名称	特記仕様書（1）			
	寒 河 江 設 計 一級建築士事務所登録 山形県知事（1212）第2117号 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲	作図建築士 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲		A-03
その他の設計士				



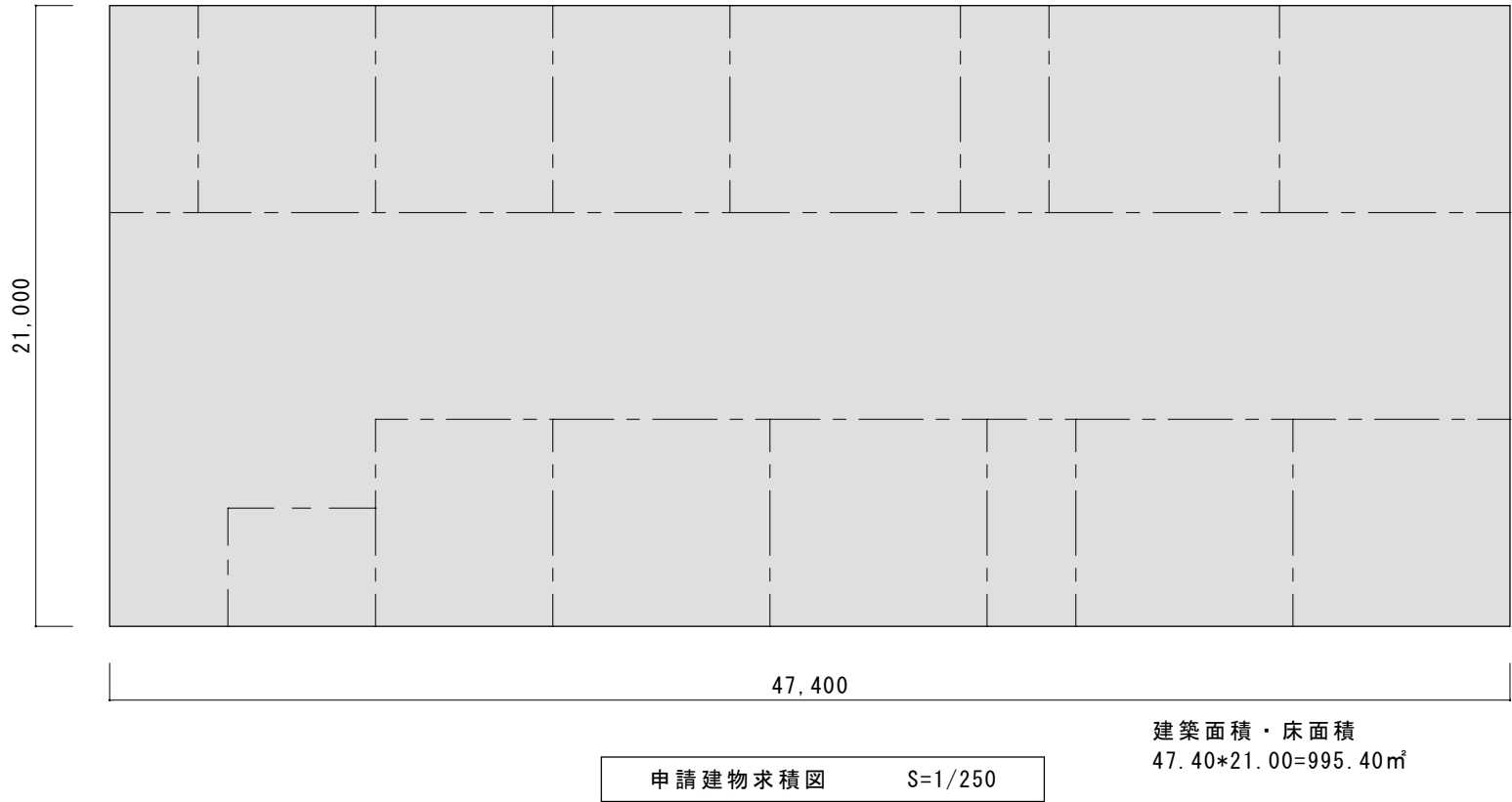
附 近 案 内 図

配 置 図 S=1/250

工事名称	テルス株式会社日之出事業所堆肥化施設新築工事		SCALE	1/250	日付	R08. 03	NO. A-04
図面名称	配置図・案内図						
寒 河 江 設 計			作図建築士				
一級建築士事務所登録 山形県知事 (1212) 第2117号			一級建築士 大臣 登録 257783 号				
一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲			寒 河 江 秀 憲				
その他の設計士							



工事名称	テルス株式会社日之出事業所堆肥化施設新築工事	SCALE	日付	N O . A-05
図面名称	敷地求積図	1/200	R08. 03	
寒 河 江 設 計 一級建築士事務所登録 山形県知事 (1212) 第2117号 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲		作図建築士 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲		
その他の設計士				



面積表 (単位は㎡とする)					
敷地面積	3,821.59				
	申請建物	既存建物1階	既存建物2階	既存建物合計	合 計
建築面積	995.40			1,037.89	2,033.29
床面積	995.40	1,037.89	13.50	1,051.39	2,046.79
用途地域	都市計画区域外 防火指定 無し				
建ぺい率	(2,033.29/3,821.59)*100=53.20%				
容積率	(2,046.79/3,821.59)*100=53.55%				

工事名称	テルス株式会社日之出事業所堆肥化施設新築工事		SCALE	日付	N O . A-06
図面名称	建物求積図		1/250	R08. 03	
寒 河 江 設 計 一級建築士事務所登録 山形県知事 (1212) 第2117号 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲			作図建築士 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲		
その他の設計士					

< 外 部 仕 上 表 >

屋 根	屋 根	R階	カラー鉄板折板葺き II型 t=0.8 裏張りNSフネン5mm	開 口 部	出入り口	木製吊り戸	
		破風	ケラバ包み カラー鉄板包 t=0.6		一般部	巻上カーテン	
	軒 天	折板裏面表し			開口部回り断熱材		
	庇						
	軒樋				そ の 他	外壁周り断熱材	
	縦樋					内部断熱材	
床	ピロティ					天井断熱材	
外 壁	外 壁	ポリカーボネート板 t=0.7				タラップ	
	布 基 礎	コンクリート打放し補修 弾性アクリル系吹付タイル(伸縮目地 @3000)				シックハウス対策	使用建築材料は原則としてF☆☆☆☆を使用する 天井裏ｽﾍﾞｰｽは全て第3種以上の材料を使用する。

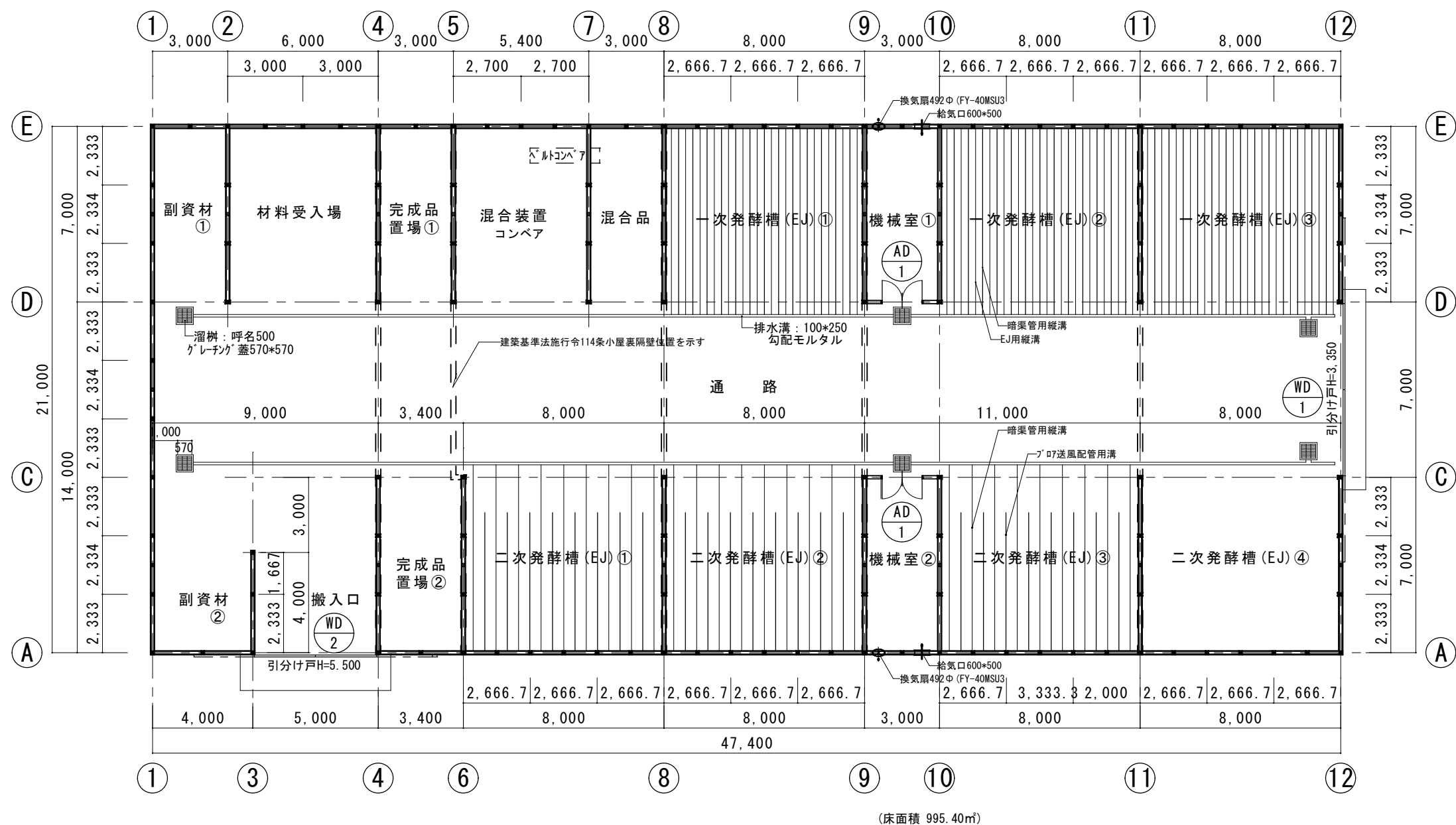
< 内 部 仕 上 表 １ >

1 階	室 名	床	巾 木		腰 壁		壁	天 井			備 考
				H		H			廻 縁	天井高	
	副資材 ①・②	ﾌｻｺﾝｸﾘｰﾄt=110金鍍仕上げ			基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ表し	2600	外壁裏表し	屋根裏表し			
	材料受入場	ﾌｻｺﾝｸﾘｰﾄt=110金鍍仕上げ			基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ表し	2600	外壁裏表し	屋根裏表し			
	完成品置場 ①・②	ﾌｻｺﾝｸﾘｰﾄt=110金鍍仕上げ			基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ表し	2600	外壁裏表し	屋根裏表し			
	混合装置	ﾌｻｺﾝｸﾘｰﾄt=110金鍍仕上げ			基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ表し	2600	外壁裏表し	屋根裏表し			
	混合品	ﾌｻｺﾝｸﾘｰﾄt=110金鍍仕上げ			基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ表し	2600	外壁裏表し	屋根裏表し			
	一次発酵槽 ①・②・③	ﾌｻｺﾝｸﾘｰﾄt=110金鍍仕上げ			基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ表し	2600	外壁裏表し	屋根裏表し			F J 用溝 暗渠管用溝
	二次発酵槽 ①・②・③	ﾌｻｺﾝｸﾘｰﾄt=110金鍍仕上げ			基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ表し	2600	外壁裏表し	屋根裏表し			暗渠管用溝 ﾌﾞﾛｵ送風配管用溝
	機械室 ①・②	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ 金鍍仕上げ			基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ表し	2600	外壁裏表し	ケイ酸カルシウム板 t=9			
	搬入口・通路	ﾌｻｺﾝｸﾘｰﾄt=110金鍍仕上げ			基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ表し	2600	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ表し	屋根裏表し			

< 認定番号 >

石膏ﾎﾞｰﾄﾞ (GB-R) t=12.5 NM－8 6 1 9	不燃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ (GB-R) t=9.5 NM－0 4 4 1	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ (GB-R) t=9.5 QM－9 8 2 8	ビニールクロス QM－0 8 2 2		
化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9.5 NM－1 8 6 4	防水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=12.5 NM－9 6 3 9	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t=6.0 t=5.0 NM－8 5 7 8	不燃ビニールクロス NM－1 0 3 7		

工事名称	テルス株式会社日之出事業所堆肥化施設新築工事		SCALE	日付	N O . A-07
図面名称	仕 上 表		1/50	R08. 08	
寒 河 江 設 計 一級建築士事務所登録 山形県知事 (1212) 第2117号 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲			作図建築士 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲		
その他の設計士					

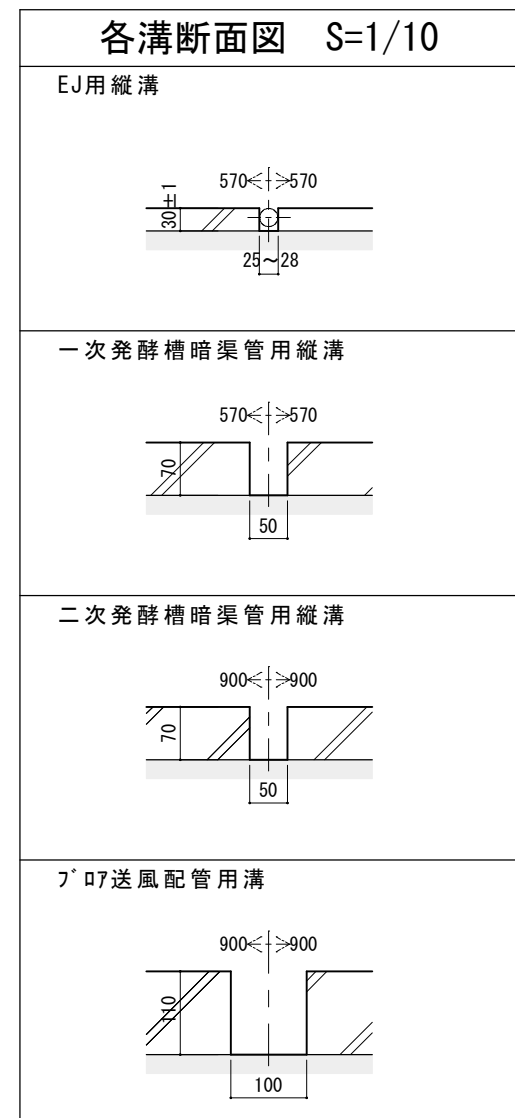


居室の床面積
 $(47.40 \times 21.00) - \frac{(3.00 \times 7.00 \times 2)}{\text{機械室}} = 953.40 \text{ m}^2$

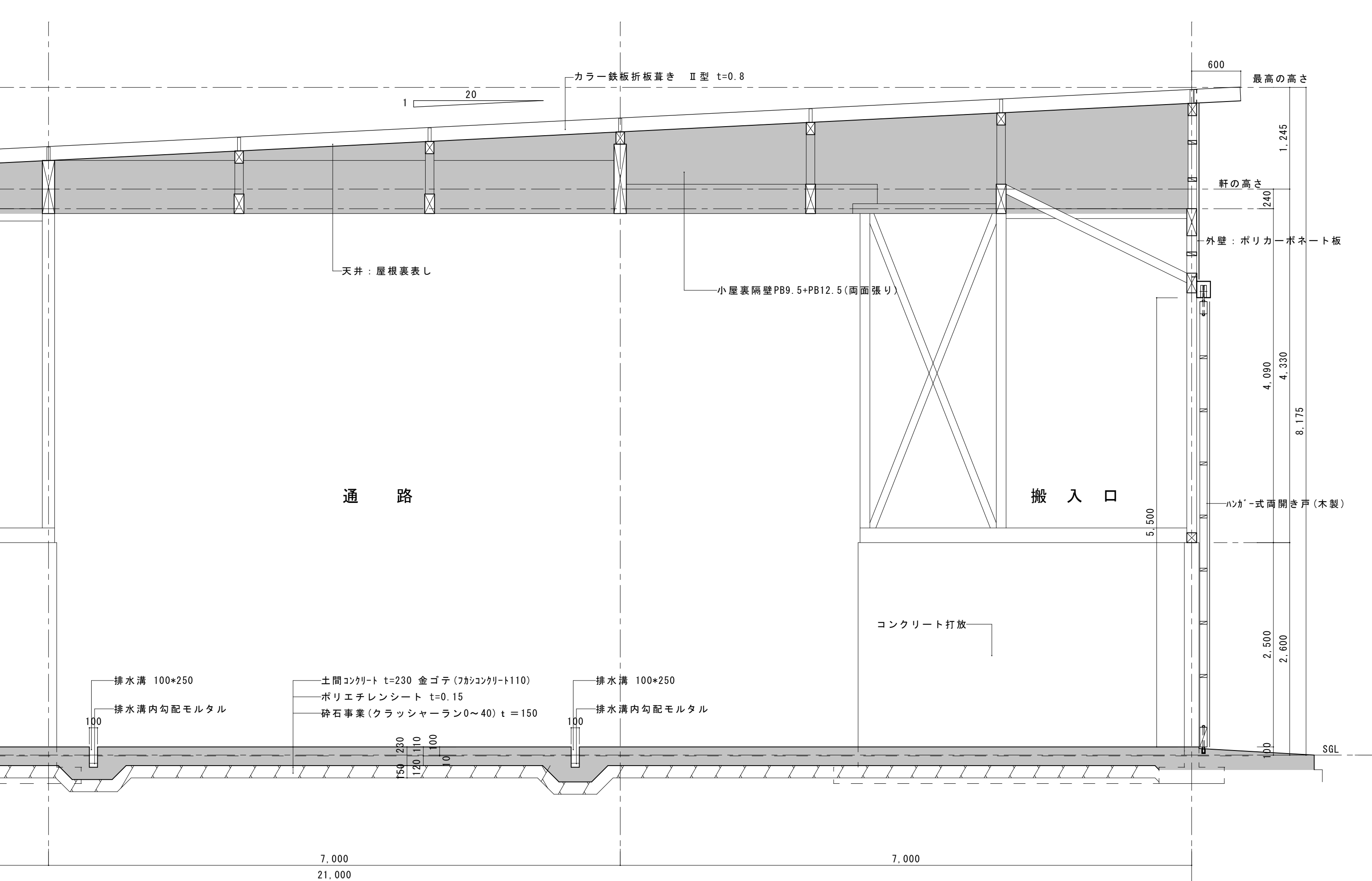
南面 $(47.20 - 0.12 * 33) * 0.898.5 = 36.47 \text{m}^2$

南面 $(47.20 - 0.12 * 33) * 1.955 = 84.53 \text{ m}^2$

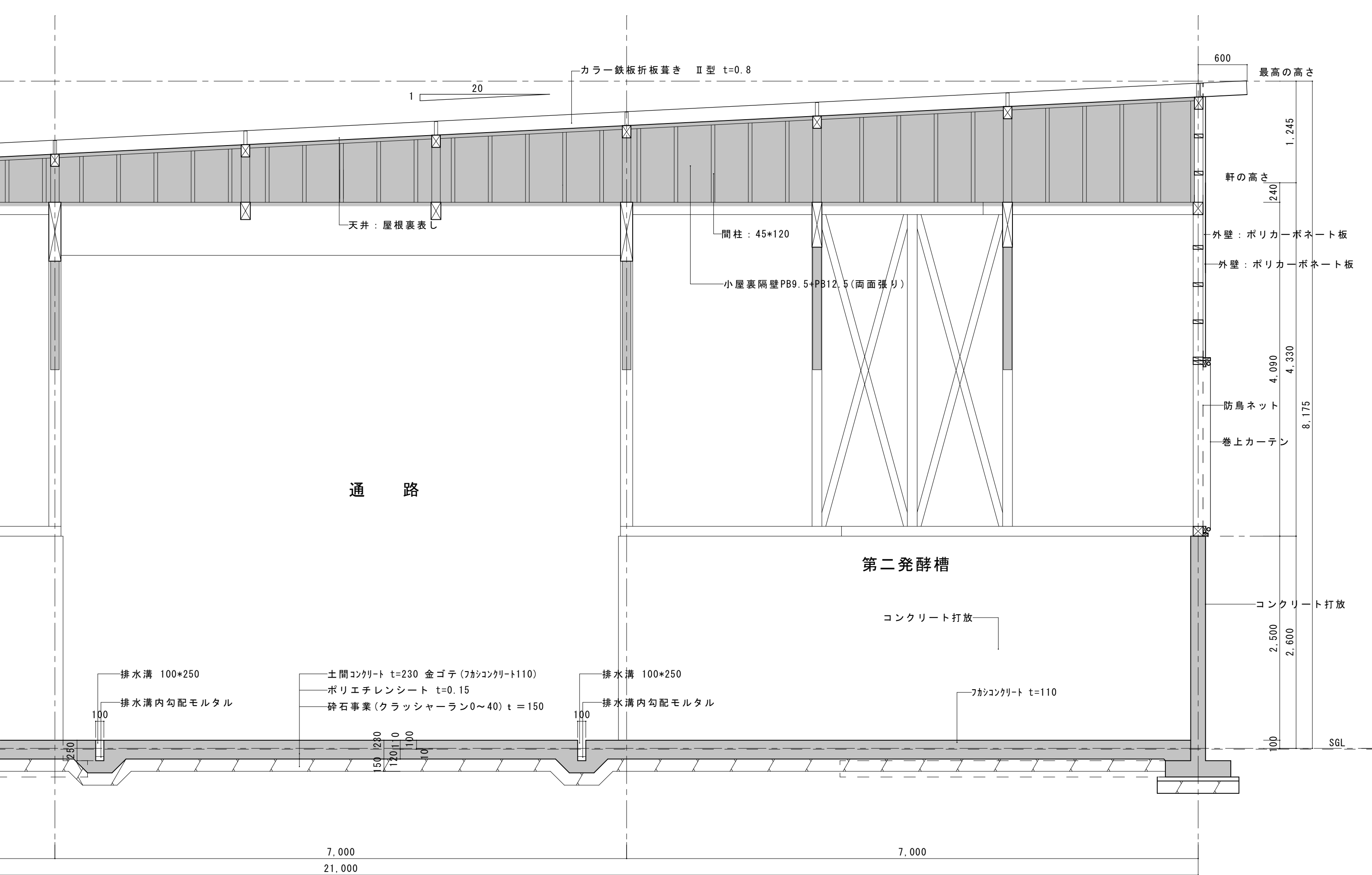
柱の本数
一柱1本巾



工事名称	テルス株式会社日之出事業所堆肥化施設新築工事	SCALE	日付	N.O.
図面名称	平面図	1/200	R08. 03	
寒河江設計 一級建築士事務所登録 山形県知事 (1212) 第2117号 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒河江秀憲		作図建築士 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒河江秀憲		
その他の設計士				

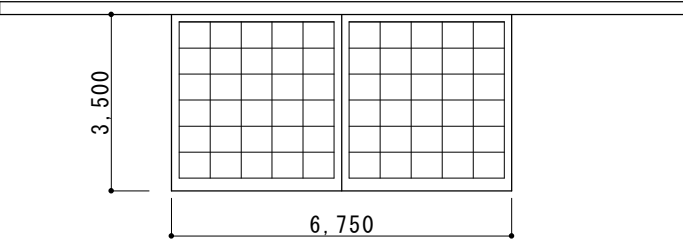
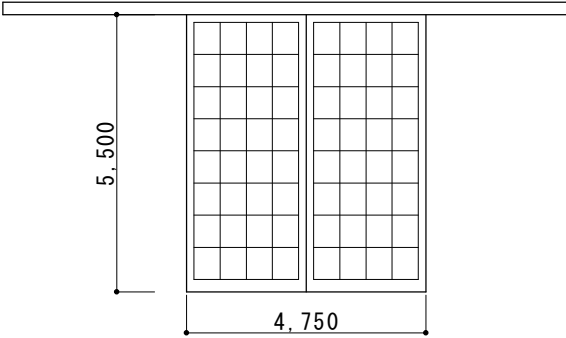
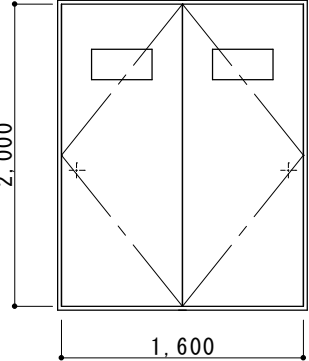


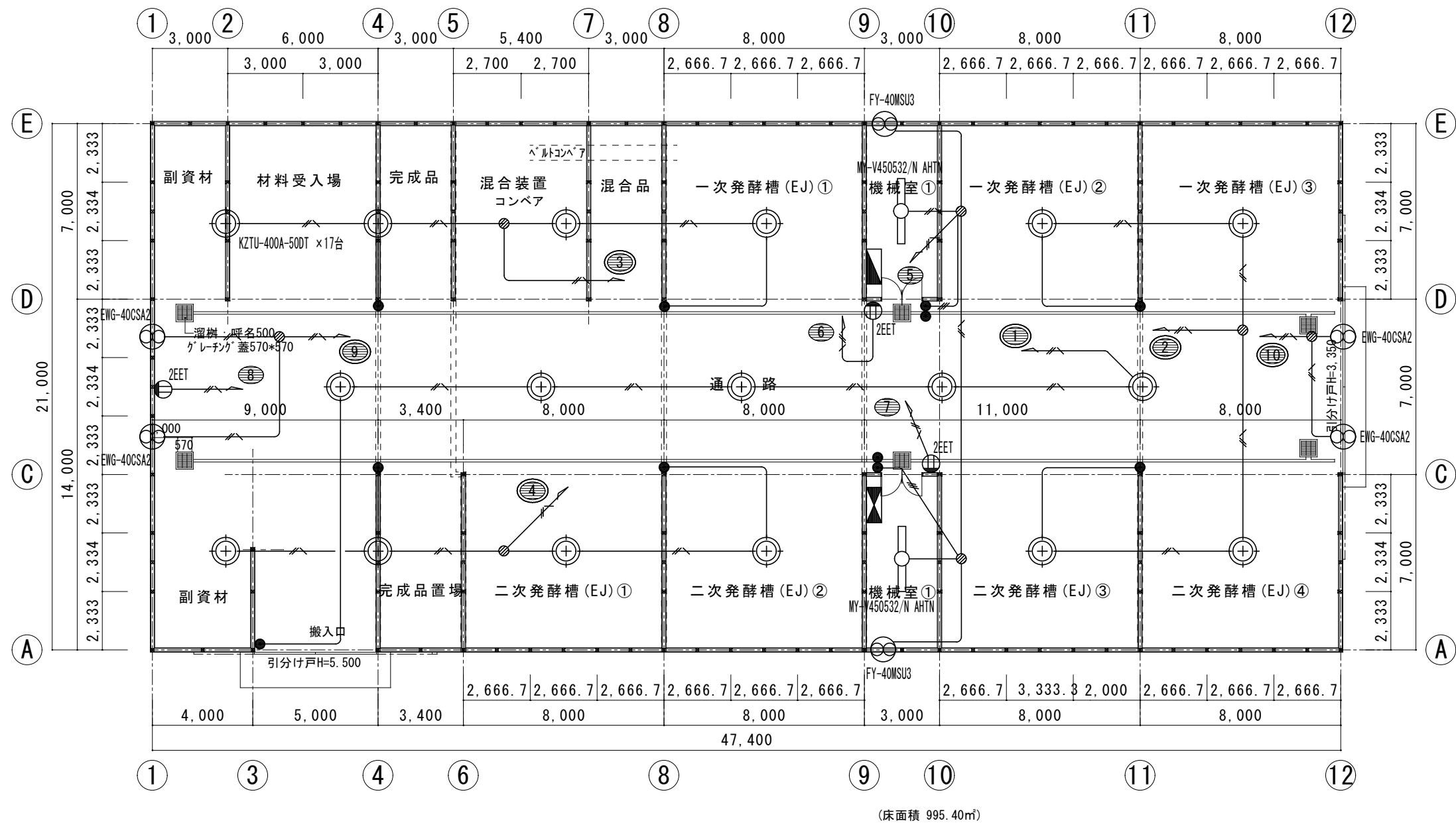
工事名称	テルス株式会社日之出事業所堆肥化施設新築工事	SCALE	1/200	日付	R08. 03	NO.	
図面名称	矩計図 2						
寒 河 江 設 計		作図建築士		A-12			
一級建築士事務所登録 山形県知事 (1212) 第2117号		一級建築士 大臣 登録 257783 号					
一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲		寒 河 江 秀 憲					
その他の設計士							



矩計図 3 S=1/40

工事名称		テルス株式会社日之出事業所堆肥化施設新築工事		SCALE	日付	N O .
図面名称		矩計図 3		1/200	R08. 03	
寒 河 江 設 計 一級建築士事務所登録 山形県知事 (1212) 第2117号 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲				作図建築士 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲		A-13
その他の設計士						

符 号 ・ 数 量	WD 1	WD 2	AD 1
使用箇所・防火仕様	1 階階段室1か所	2 階 3 階階段室1か所	機 械 室2か所
姿 図	 1/150	 1/150	
型式・防音・エアタイト仕様	引分け戸	引分け戸	両開ドア
寸法・見付・見込（枠見付・枠見込）	W=6,750 H=3,500	W=4,750 H=5,500	W=1,600 H=2,000 見込80
材 質	木 製	木 製	アルミ製
仕 上	WP	WP	カラー（ブロンズ、ステン、ブラック）
ガラス・種類・ガラス押え	ポリカーボネート板 t=0.7	ポリカーボネート板 t=0.7	F-4
建 具 金 物 （付 属 金 物）	ハンガーレール 付属金物一式	ハンガーレール 付属金物一式	付属金物一式
備 考			
符 号 ・ 数 量			
使用箇所・防火仕様			
姿 図			
型式・防音・エアタイト仕様			
寸法・見付・見込（枠見付・枠見込）			
材 質			
仕 上			
ガラス・種類・ガラス押え			
建 具 金 物 （付 属 金 物）			
備 考			



平面図 S=1/200

工事名称	株式会社テルス日之出事業所堆肥化施設新築工事		SCALE	1/200	日付	R08. 03	N O.
図面名称	電灯コンセント設備図						E-01
寒 河 江 設 計			作図建築士				
一級建築士事務所登録 山形県知事 (1212) 第2117号			一級建築士 大臣 登録 257783 号				
一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲			寒 河 江 秀 憲				
その他の設計士							

構造設計標準仕様（１）		適用は ☒ 印を記入する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
１．建築物の構造内容																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
（１）工事名称 建築場所 （２）工事種別 ☒新築 ☐増築 ☐増改築 ☐改築 （３）構造種別 ☒木造（W） ☐補強コンクリートブロック造（CB） ☐鉄骨造（S） ☐鉄筋コンクリート造（RC） ☐壁式鉄筋コンクリート造（WRC） ☐鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC） ☐壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC） ☐プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC） ☐ （４）階 数 地下 〇 階 地上 １ 階 塔屋 〇 階 （５）主要用途 児童福祉施設 （６）屋上付属物 ☐広告塔 ☐高架水槽 KN ☐ ☐煙 突 ☐キュービクル KN ☐ （７）増築計画 ☐有 （ ） ☐無 （８）付帯工事 ☐門塙 ☐擁壁 ☐ ☐ ☐ （９）特別な荷重 ☐エレベータ 人乗（ロープ式 油圧式） ☐リフト KN ☐ホイスト KN ☐倉庫積載床用 N／㎡ ☐受水槽 KN （１０）その他		（４）鉄 骨 <table><tr><td></td><td>種 類</td><td>使用箇所</td><td>現場溶接</td><td>備考</td></tr><tr><td rowspan="4">鋼 材</td><td>☐SS４００ ☐SS４００A, B</td><td></td><td>☐有 ☐無</td><td></td></tr><tr><td>☐STKR４００ ☐STKR９００</td><td></td><td>☐有 ☐無</td><td></td></tr><tr><td>☐SM４９０A, B</td><td></td><td>☐有 ☐無</td><td></td></tr><tr><td>☐SSC４００</td><td></td><td>☐有 ☐無</td><td></td></tr></table> ３．地 盤 （１）地盤調査資料 ポーリ ☐有（☐敷地内 ☐近隣）☐ング調査 ☐平板載荷試験 ☐水平地盤反力係数の測定 ☐無（調査予定 ☐有 ☐無） ☒スウェーデン式サウンディング試験 （２）地盤調査計画 ☐ボーリング調査 ☐静的貫入試験 ☐標準貫入試験 ☐水平地盤反力係数の測定 ☐土質試験 ☐物理探査 ☐平板載荷試験 ☐ （３）地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある （４）ボーリング標準貫入値、土 質構成（基礎・杭の位置を明記すること） <table><tr><td rowspan="2">深度</td><td rowspan="2">土質</td><td rowspan="2">N値</td><td colspan="8">標準貫入試験</td><td rowspan="2">〇調査地帯</td></tr><tr><td>10</td><td>20</td><td>30</td><td>40</td><td>50</td><td>60</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="10">〇位置図</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="10">〇支持地盤、地層及び深さについてのコメント</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="10">〇孔内水位 GL－ m</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="10">〇近隣データの調査地番と設計地番とは約 m 距離がある</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="10">〇備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			種 類	使用箇所	現場溶接	備考	鋼 材	☐ SS４００ ☐ SS４００A, B		☐ 有 ☐ 無		☐ STKR４００ ☐ STKR９００		☐ 有 ☐ 無		☐ SM４９０A, B		☐ 有 ☐ 無		☐ SSC４００		☐ 有 ☐ 無		深度	土質	N値	標準貫入試験								〇調査地帯	10	20	30	40	50	60											〇位置図																																																																																																					〇支持地盤、地層及び深さについてのコメント																																																																																																					〇孔内水位 GL－ m																																																																																																					〇近隣データの調査地番と設計地番とは約 m 距離がある																																																																																																					〇備考																																																																																										
	種 類	使用箇所	現場溶接	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
鋼 材	☐ SS４００ ☐ SS４００A, B		☐ 有 ☐ 無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	☐ STKR４００ ☐ STKR９００		☐ 有 ☐ 無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	☐ SM４９０A, B		☐ 有 ☐ 無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	☐ SSC４００		☐ 有 ☐ 無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
深度	土質	N値	標準貫入試験								〇調査地帯																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			10	20	30	40	50	60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
										〇位置図																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
										〇支持地盤、地層及び深さについてのコメント																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
										〇孔内水位 GL－ m																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
										〇近隣データの調査地番と設計地番とは約 m 距離がある																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
										〇備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
２．使用構造材料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
（１）コンクリート <table><tr><td>適用箇所</td><td>種 類</td><td>設計基準強度 F_c＝N／mm²</td><td>スランプ c_m</td><td>備 考</td></tr><tr><td>捨コンクリート</td><td>普通</td><td>13.5, (18)</td><td>15</td><td></td></tr><tr><td>ラップルコンクリート</td><td>普通</td><td>18, 21, 16</td><td></td><td></td></tr><tr><td>土間コンクリート</td><td>普通</td><td>18, (21), 24</td><td>18</td><td></td></tr><tr><td>基礎、基礎梁</td><td>普通</td><td>18, (21), 24</td><td>18</td><td></td></tr><tr><td>柱、梁、床、壁</td><td>普通</td><td>18, 21, 24</td><td></td><td></td></tr><tr><td>押えコンクリート</td><td>普通</td><td>13.5, 16, 18</td><td></td><td></td></tr></table> （２）コンクリートブロック（CB） ☐A種 ☐B種 ☒C種 厚☐100, ☐120, ☐150, ☐190, （３）鉄 筋 <table><tr><td></td><td>種 類</td><td>径</td><td>使用箇所</td><td>継手工法</td></tr><tr><td rowspan="4">異形鉄筋</td><td>☒SD295A</td><td>D10, 13</td><td></td><td>☒重ね継手</td></tr><tr><td>☐SD295B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>☐SD345</td><td>D19 以上</td><td></td><td>☐ガス圧接継手</td></tr><tr><td>☐</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>丸 鋼</td><td>☐SD235</td><td></td><td></td><td>☐特殊継手</td></tr><tr><td>溶接金鋼</td><td>☐</td><td></td><td></td><td>()</td></tr></table>		適用箇所	種 類	設計基準強度 F _c ＝N／mm ²	スランプ c _m	備 考	捨コンクリート	普通	13.5, (18)	15		ラップルコンクリート	普通	18, 21, 16			土間コンクリート	普通	18, (21), 24	18		基礎、基礎梁	普通	18, (21), 24	18		柱、梁、床、壁	普通	18, 21, 24			押えコンクリート	普通	13.5, 16, 18				種 類	径	使用箇所	継手工法	異形鉄筋	☒ SD295A	D10, 13		☒ 重ね継手	☐ SD295B				☐ SD345	D19 以上		☐ ガス圧接継手	☐				丸 鋼	☐ SD235			☐ 特殊継手	溶接金鋼	☐			()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
適用箇所	種 類	設計基準強度 F _c ＝N／mm ²	スランプ c _m	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
捨コンクリート	普通	13.5, (18)	15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
ラップルコンクリート	普通	18, 21, 16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
土間コンクリート	普通	18, (21), 24	18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
基礎、基礎梁	普通	18, (21), 24	18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
柱、梁、床、壁	普通	18, 21, 24																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
押えコンクリート	普通	13.5, 16, 18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	種 類	径	使用箇所	継手工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
異形鉄筋	☒ SD295A	D10, 13		☒ 重ね継手																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	☐ SD295B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	☐ SD345	D19 以上		☐ ガス圧接継手																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	☐																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
丸 鋼	☐ SD235			☐ 特殊継手																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
溶接金鋼	☐			()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		（５）ボルト ☐高力ボルト ☐普通、F10T ☐特殊、F10T 認定品（☐M12、☐M16、☐M20、☐M22、） ☐中ボルト φ＝ φ＝ 高力ボルトすべり係数試験 ☐要 ☐否 ☐アンカーボルト SS４００ φ＝ L＝ mmナット（シングル、ダブル） φ＝ L＝ mm ☐スタッドボルト φ＝ L＝ mm （６）屋根、床、壁 厚 ☐ALC版 ☐折 版 形式 H＝ 厚 使用箇所 ☐デッキプレート 形式 厚 ☐キーストンプレート 形式 厚 ☐特殊デッキプレート ☐ ４．地業工事 （１）直接基礎 ☐ベタ基礎 ☒布基礎 ☐独立基礎 試験堀 ☒有 ☐無 深さGL－0.35m, 支持層－ 長期許容支持力度 85kn／㎡ 載荷試験 ☐有 ☒無 （２）杭基礎 支持層－ <table><tr><td>杭 種</td><td>材 料</td><td>施工方法</td><td>備 考</td></tr><tr><td rowspan="2">☐RC ☐PC ☐PHC☐H鋼 ☐鋼材☐摩擦杭 ☐</td><td rowspan="2">PC（☐A種☐B種☐C種） PHC（☐A種☐B種☐C種） 鋼材 ☐SS４００ ☐STK４００</td><td>☐打ち込み ☐埋込み（セメントミルク工法）</td><td rowspan="2">大臣認定 第 号 年 月 日</td></tr><tr><td>☐</td><td></td></tr><tr><td>☐場所打ち コンクリート杭</td><td>コンクリートF_c＝ セメント量 N／㎡ 鉄 筋 主 筋 SD HOOP SD</td><td>☐オールケーシング ☐拡底杭 ☐リバースサーキュレーション ☐アースドリル ☐ミニアース ☐BH ☐深礎 { ☐手堀 ☐機械堀</td><td>拡底杭 日本建築セン ター認定 第 号 年 月 日</td></tr></table> 杭仕様 ☐施工計画書承認 ☐杭施工結果報告書 試験杭 （☐有・ ☐無） （☐打ち込み ☐載荷） 本 <table><tr><td>杭径（mm）</td><td>設計支持力（t）</td><td>杭の先端の深さ（m）</td><td>本数</td><td>特記事項</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		杭 種	材 料	施工方法	備 考	☐ RC ☐ PC ☐ PHC ☐ H鋼 ☐ 鋼材 ☐ 摩擦杭 ☐	PC（ ☐ A種 ☐ B種 ☐ C種） PHC（ ☐ A種 ☐ B種 ☐ C種） 鋼材 ☐ SS４００ ☐ STK４００	☐ 打ち込み ☐ 埋込み（セメントミルク工法）	大臣認定 第 号 年 月 日	☐		☐ 場所打ち コンクリート杭	コンクリートF _c ＝ セメント量 N／㎡ 鉄 筋 主 筋 SD HOOP SD	☐ オールケーシング ☐ 拡底杭 ☐ リバースサーキュレーション ☐ アースドリル ☐ ミニアース ☐ BH ☐ 深礎 { ☐ 手堀 ☐ 機械堀	拡底杭 日本建築セン ター認定 第 号 年 月 日	杭径（mm）	設計支持力（t）	杭の先端の深さ（m）	本数	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
杭 種	材 料	施工方法	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
☐ RC ☐ PC ☐ PHC ☐ H鋼 ☐ 鋼材 ☐ 摩擦杭 ☐	PC（ ☐ A種 ☐ B種 ☐ C種） PHC（ ☐ A種 ☐ B種 ☐ C種） 鋼材 ☐ SS４００ ☐ STK４００	☐ 打ち込み ☐ 埋込み（セメントミルク工法）	大臣認定 第 号 年 月 日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		☐																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
☐ 場所打ち コンクリート杭	コンクリートF _c ＝ セメント量 N／㎡ 鉄 筋 主 筋 SD HOOP SD	☐ オールケーシング ☐ 拡底杭 ☐ リバースサーキュレーション ☐ アースドリル ☐ ミニアース ☐ BH ☐ 深礎 { ☐ 手堀 ☐ 機械堀	拡底杭 日本建築セン ター認定 第 号 年 月 日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
杭径（mm）	設計支持力（t）	杭の先端の深さ（m）	本数	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

構造設計標準仕様（2）		適用は ☒ 印を記入する。																																																																																																																																													
5．鉄筋コンクリート工事																																																																																																																																															
（1）コンクリート ●コンクリートはJ I S 認定工場の製品とし施工に関してはJ A S S 5による。 ●セメントは、J I S R 5 2 1 0の普通ポルトランドセメントを標準とする。 ●調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。 ●寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。 ●フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定器ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。 測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。 ●構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体（J A S S 5 T - 6 0 3）は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。 また、打込み量が1 5 0 m³をこえる場合は1 5 0 m³ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運転車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当り6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。 ●ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近ずけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、1 m以下とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は外気温が2 5℃未満の場合は1 5 0分、2 5℃以上の場合は1 2 0分以内とする。 （2）鉄 筋 ●鉄筋はJ I S G 3 1 1 2の規格品を標準とする。 ●鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）（2）」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）（2）」による。 ☐ D 1 9未満は、すべて重ね継手とする。継手（D 1 9以上）をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。 ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと（2 0 0箇所を超えときは、2 0 0箇所ごと）に1回行い、1回の試験は3本以上とする。 外観検査 ☐有 ☐無、 引張検査 ☐有 ☐無、 超音波探傷試験 ☐有 ☐無、 柱の帯筋（H O O P）の加工方法は、☐H型（タガ型）☐W型（溶接型）☐S型（スパイラル型）とする。 コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。 試験機関名 代行業者名 代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。 （3）型 枠 ●材料 合板厚 1 2 m／m を標準とする。 ☐ ●型枠存置期間 ※ （共通仕様書6．3．1）による。 <table><tr><td rowspan="4">種類 部 位</td><td rowspan="4">セメントの種類 存置期間の平均気温</td><td colspan="4">せ き 板</td><td colspan="3">支 柱</td></tr><tr><td colspan="2">基礎、はり側、柱、壁</td><td>スラブ</td><td>下、はり下</td><td colspan="2">スラブ下</td><td>はり下</td></tr><tr><td>早強ポルトランドセメント</td><td>普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種</td><td>早強ポルトランドセメント</td><td>普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種</td><td>早強ポルトランドセメント</td><td>普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種</td><td>普通ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種</td></tr><tr><td>2 0℃以上</td><td>4</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="2">コンクリートの圧縮強度</td><td>1 0℃～2 0℃</td><td>—</td><td>6</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>℃以上</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">5 N／mm²</td><td colspan="4">設計基準強度の1 0 0%</td></tr></table> 注）1片持ばり、ひさし、スパン8．0 m 注）2大ばりの支柱の盛りかえは行わない。 行かない。 注）3支柱の盛りかえは、必ず直上階の 注）4盛りかえ後の支柱頂部には、厚い 注）5支柱の盛りかえは、小ばりが終わって一時に全部の支柱を取り払 注）6上表以外のセメントを使用する場合 以上のはり下は、工事監理者の指示による。 また、その他ののはりの場合も原則として コンクリート打ち後とする。 受板、角材または、これに代わるものを置く てから、スラブを行う。 って、盛りかえをしてはならない。 合は工事監理者の指示による。 <table><tr><td colspan="2">6．鉄骨工事</td></tr><tr><td>（1）鉄骨工事は指示のない限り下記による</td><td>度検査基準」「鉄骨工事技術指針」</td></tr><tr><td>☐日本建築学会「J A S S 6」「鉄骨精</td><td></td></tr><tr><td>☐鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」</td><td></td></tr><tr><td>☐</td><td></td></tr><tr><td>（2）工事監理者の承認を必要とするもの</td><td></td></tr><tr><td>☐製作工場 ☐製作要領書 ☐工作図 ☐施工計画書</td><td></td></tr><tr><td>☐建設省告示第1 1 0 3号による認定工場</td><td>（大臣認定 グレード都登録 ランク）</td></tr><tr><td>☐材料規格証明書または試験成績書</td><td></td></tr><tr><td>☐鋼材 ☐高力ボルト ☐特殊ボルト ☐スタッドボルト</td><td></td></tr><tr><td>☐社内検査表 ☐</td><td></td></tr><tr><td>（3）工事監理者が行う検査項目</td><td></td></tr><tr><td>（☒印以外の項目の検査結果については、</td><td>工事監理者に報告すること）</td></tr><tr><td>☐現寸検査 ☐組立・開先検査 ☐製品検査</td><td></td></tr><tr><td>☐現寸検査 ☐</td><td>☐</td></tr></table> （4）接合部の溶接は下記によること ☐東京都アーク溶接工事管理基準（建築構造設計指針第1 2章） ☐鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱（建築構造設計指針第1 2章） ☐日本建築学会「溶接工作基準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」 （5）接合部の検査 ☐溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること） <table><tr><td rowspan="4">検査箇所</td><td rowspan="4">検査方法</td><td colspan="3">検査率又は検査数</td><td rowspan="4">備 考</td></tr><tr><td>社 内</td><td>第三者</td><td>工事監理者</td></tr><tr><td>%</td><td>%</td><td>%</td></tr><tr><td>個</td><td>個</td><td>個</td></tr><tr><td>☐突合せ溶接部</td><td>超音波探傷試験</td><td>個</td><td>個</td><td>個</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>☐</td><td>外観（目視）検査</td><td>%</td><td>%</td><td>%</td></tr><tr><td>☐</td><td>マクロ試験・その他</td><td>個</td><td>個</td><td>個</td></tr><tr><td colspan="2">第三者検査機関名</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="5">第三者検査機関は、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。</td><td></td></tr></table> 注） 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。 ☐高力ボルトは「J I S B 1 1 8 6の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが5 0 S以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。 ☐高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として2度締めとする。 締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。 （6）防錆塗装 ☐防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、J I S K 5 6 2 1、2回塗りを標準とする。 ☐現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。 （7）耐火被覆の材料 ☐ <table><tr><td colspan="2">7．設備関係</td></tr><tr><td>●特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。</td><td></td></tr><tr><td>●設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。</td><td></td></tr><tr><td>●床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合はスラブ厚さの1／3以下とし管の間隔を5 c m以上とする。</td><td></td></tr></table> <table><tr><td colspan="2">8．その他</td></tr><tr><td>●諸官庁への届出書類は遅滞なく提出する事。</td><td></td></tr><tr><td>☐各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。</td><td></td></tr><tr><td>☐</td><td></td></tr></table>		種類 部 位	セメントの種類 存置期間の平均気温	せ き 板				支 柱			基礎、はり側、柱、壁		スラブ	下、はり下	スラブ下		はり下	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	普通ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	2 0℃以上	4	—	—	—	—	—	コンクリートの圧縮強度	1 0℃～2 0℃	—	6	—	—	—	—	℃以上	—	—	—	—	—	—			5 N／mm ²		設計基準強度の1 0 0%				6．鉄骨工事		（1）鉄骨工事は指示のない限り下記による	度検査基準」「鉄骨工事技術指針」	☐ 日本建築学会「J A S S 6」「鉄骨精		☐ 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」		☐		（2）工事監理者の承認を必要とするもの		☐ 製作工場 ☐ 製作要領書 ☐ 工作図 ☐ 施工計画書		☐ 建設省告示第1 1 0 3号による認定工場	（大臣認定 グレード都登録 ランク）	☐ 材料規格証明書または試験成績書		☐ 鋼材 ☐ 高力ボルト ☐ 特殊ボルト ☐ スタッドボルト		☐ 社内検査表 ☐		（3）工事監理者が行う検査項目		（ ☒ 印以外の項目の検査結果については、	工事監理者に報告すること）	☐ 現寸検査 ☐ 組立・開先検査 ☐ 製品検査		☐ 現寸検査 ☐	☐	検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備 考	社 内	第三者	工事監理者	%	%	%	個	個	個	☐ 突合せ溶接部	超音波探傷試験	個	個	個		☐	外観（目視）検査	%	%	%	☐	マクロ試験・その他	個	個	個	第三者検査機関名						第三者検査機関は、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。						7．設備関係		●特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。		●設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。		●床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合はスラブ厚さの1／3以下とし管の間隔を5 c m以上とする。		8．その他		●諸官庁への届出書類は遅滞なく提出する事。		☐ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。		☐	
種類 部 位	セメントの種類 存置期間の平均気温			せ き 板				支 柱																																																																																																																																							
				基礎、はり側、柱、壁		スラブ	下、はり下	スラブ下		はり下																																																																																																																																					
				早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	普通ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種																																																																																																																																					
		2 0℃以上	4	—	—	—	—	—																																																																																																																																							
コンクリートの圧縮強度	1 0℃～2 0℃	—	6	—	—	—	—																																																																																																																																								
	℃以上	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																								
		5 N／mm ²		設計基準強度の1 0 0%																																																																																																																																											
6．鉄骨工事																																																																																																																																															
（1）鉄骨工事は指示のない限り下記による	度検査基準」「鉄骨工事技術指針」																																																																																																																																														
☐ 日本建築学会「J A S S 6」「鉄骨精																																																																																																																																															
☐ 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」																																																																																																																																															
☐																																																																																																																																															
（2）工事監理者の承認を必要とするもの																																																																																																																																															
☐ 製作工場 ☐ 製作要領書 ☐ 工作図 ☐ 施工計画書																																																																																																																																															
☐ 建設省告示第1 1 0 3号による認定工場	（大臣認定 グレード都登録 ランク）																																																																																																																																														
☐ 材料規格証明書または試験成績書																																																																																																																																															
☐ 鋼材 ☐ 高力ボルト ☐ 特殊ボルト ☐ スタッドボルト																																																																																																																																															
☐ 社内検査表 ☐																																																																																																																																															
（3）工事監理者が行う検査項目																																																																																																																																															
（ ☒ 印以外の項目の検査結果については、	工事監理者に報告すること）																																																																																																																																														
☐ 現寸検査 ☐ 組立・開先検査 ☐ 製品検査																																																																																																																																															
☐ 現寸検査 ☐	☐																																																																																																																																														
検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備 考																																																																																																																																										
		社 内	第三者	工事監理者																																																																																																																																											
		%	%	%																																																																																																																																											
		個	個	個																																																																																																																																											
☐ 突合せ溶接部	超音波探傷試験	個	個	個																																																																																																																																											
☐	外観（目視）検査	%	%	%																																																																																																																																											
☐	マクロ試験・その他	個	個	個																																																																																																																																											
第三者検査機関名																																																																																																																																															
第三者検査機関は、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。																																																																																																																																															
7．設備関係																																																																																																																																															
●特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。																																																																																																																																															
●設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。																																																																																																																																															
●床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合はスラブ厚さの1／3以下とし管の間隔を5 c m以上とする。																																																																																																																																															
8．その他																																																																																																																																															
●諸官庁への届出書類は遅滞なく提出する事。																																																																																																																																															
☐ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。																																																																																																																																															
☐																																																																																																																																															

木質工事特記仕様書（1）

1. 一般事項

（1）適用範囲

本仕様書は建築物および工作物の構造上主要な部分に木材を用いる工事に適用する。

☒

は適用項目を示すものとする。

（2）設計図書

設計図書とは本仕様書、設計図、指示書（現場説明書および質疑回答書を含む）をいう。

（3）標準仕様書

設計図書に記載なきものは「住宅金融公庫監修・木造住宅工事共通仕様書」及び「国土交通大臣官房官庁営繕部監修・木造建築工事共通仕様書」に準ずる。

上記の仕様書に記載なき場合は、公共規格がこれに準ずる規格を適用する。

（4）設計図書の優先順位

設計図書の優先順位は下記による。

1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書）

2. 設計図

3. 本仕様書

4. 標準仕様書

（5）疑義

疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。

（6）製作要領書及び施工計画書の作成・提出

工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。

（7）施工図及びプレカット図の提出

工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。

（8）製作工場の選定、承諾

設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける。

（9）各種試験・検査報告書の提出

施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

2. 材料の品質

2.1 木質材料

（1）針葉樹の構造用製材、広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材

本項の内容は特記無き限り、針葉樹の構造用製材及び広葉樹の製材及び枠組壁工法構造用製材等の日本農林規格に準ずること。

部 位	品 名	樹 種	区分、等級	含水率	その他
柱					
梁					
梁					
土台					
母屋					
垂木・大引					

☐記入無き梁桁、母屋、タル木等の曲げ材のうち、見えがかり材は目視等級材の甲種2級、見えない部分の木材は甲種3級とする。その他は乙種2級とする。

☐主要構造部には機械等級区分製材を用いることを原則とする。

☐乾燥の際背割りを行う。但し見えがかり部・相欠き部材・構造用合板の釘接合面には行わない。

☐含水率は平均含水率とし下地材等に用いる場合でも含水率D25以下であることを確認する。

☐強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の節、目切れ等に注意して材料を選定し、仕口や接合部に欠点が当たらないように加工する。

☐材の曲がりについては、上記にかかわらず目視等級1級相当とする。

（2）構造用集成材、構造用単板積層材（LVL）

本項の内容は特記無きかぎり構造用集成材及び構造用単板積層材の日本農林規格に準ずること。

部 位	品 名	樹 種	曲げヤング係数区分	材 面	接 着	軸方向圧縮強度
	等 級		水平せん断性能区分	品 質	性 能	放 散 量
梁						
梁						
梁・母屋						
垂木・大引						

（3）構造用合板、構造用パネル

本項の内容は特記無きかぎり構造用合板及び構造用パネルの日本農林規格に準ずること。

部 位	品 名	強度等級	曲げ性能基準合板1級	板面品質	接 着耐久性	寸法(mm)厚(巾×長)	ホルムアルデヒド放散量

・構造用合板はできるだけ大きい寸法のものを用いる。

2.2 ファスナー

ここに示すファスナーや接合金物などは、木質構造の接合部に適用する。ファスナーや接合金物等に錆を生じるおそれのある場合は適切な防錆処理を施す。鋼材の表面処理は特記による。

標準メッキ処理は、溶融亜鉛メッキ：MFZn -C、電気メッキ：EP-Fe/Zn 5/CM2 とする。

（1）くぎ、木ネジ、特殊ネジ

種 類	材 質	適 用 径	使用箇所 頭部／胴部の形状
☒N釘	・鉄 ・ステン鋼 ・鉄	N19～N150	
☒CN釘 ☐BN釘 ☐ZN釘 ☒GN釘 ☐SN釘		CN25～CN150 BN25～BN125 ZN 4 5 ～ 9 0 GNF25～GNF125 3. 05 mm	耐力壁、床板、屋根
☒木ネジ ☒特殊ネジ ☐コースレッド	・軟鋼線材 ・ステン鋼 ・真鍮		石膏ボード用 シージングインシュレーション ファイバーボード

（2）ボルト、ナット

種 類	材 質	適 用 径	表面処理、部品等級など
☒呼び径六角ボルト	・SS400	M3～M36	・電気メッキ
☐ 有効径六角ボルト	・SS400	M3～M20	
☐ 全ネジ六角ボルト	・SS400	M3～M36	
☐ ステンレスボルト	・SUS304		
☐ アンカーボルト	・SS400	M12～M24	・溶融亜鉛メッキ

・材質は鋼、ステンレス鋼、非金属。径ど長さの組合せは参照。

（3）座金

適 用	材 質	適 用 径	形状・表面処理	その他
☒ 座金	・SPCC（JIS G 3131）	M8～M24	・角座金・丸座金	
☐	・SPHC（JIS G 3141）		・電気メッキ	

・座金は用途ごと（引張、せん断）に下表により使い分ける。

ボルト径に対する座金の大きさ	8	10	12	16	20	24
引張を受けるボルト	厚さ 4.5	4.5	6	9	9	13
	角座金の一辺 40	50	60	80	105	125
	丸座金の直径 45	60	70	90	120	140
せん断を受けるボルト	厚さ 3.2	3.2	3.2	4.5	6	6
	角座金の一辺 25	30	35	50	60	70
	丸座金の直径 30	35	40	60	70	80

（4）ドリフトピン、コーチスクリューボルト、ジベル、シアプレート、木栓

種 類	材 質	適用径・長さ	表面処理、その他
☐ ドリフトピン	・SS400	φ9～φ19	・電気メッキ
☐ コーチスクリューボルト（ラグスクリュー）	・SWRCH10R（JIS G 3507）	φ9～φ19	・電気メッキ
☐ スプリットリング	・SS400	φ64、φ102	
☐ シアプレート	・		・電気メッキ
☐ 木栓	・堅木	M12～M24	

・木栓はナラ・ケヤキ・カシ等で気乾比重0.6以上の広葉樹とし、節や目切れ等の欠点の無いものとする。

（5）接合金物、鋼材

種 別	材 質	表面処理	適用、形状、その他
☒Zマーク	・JIS G	・電気亜鉛メッキ	
☐ Cマーク	・		
☐ 引寄せ金物	・		
☐ その他の金物	・		
☒ 鋼材	・SS400	・溶融亜鉛メッキ	・設計図中の特記による

（6）接着剤（接着接合）

ここでいう接着接合とは、建設現場で用いるものを対象とし、内容は特記による。

3. 材料品質の検査方法

現場または加工工場に搬入された製材等は、加工に先立ち下記の要領で受け入れ検査を実施し、監理者に報告する。また監理者の立会いを要する検査については、指定された試験要領に基づいて、適時抜取り検査を実施する。社内検査で試験本数や抜取り率の指定がない場合は原則全数とする。検査の結果、性能を満たさない材料については適用箇所を変更する等の措置を行うこと。

（1）針葉樹の構造用製材、広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材

(数値は%を示す)

部 材	確認する仕様	確認者	材種等級	外観検査	寸法検査	含水率測定		ヤング係数測定			
						表示	全乾重量法	含水率計	表示	静的試験	動的試験
(例)梁GI	スギD20、E70	社内監理者	100○	100○	100○		10本	100		10本○	100○

・監理者欄の○は立会い検査が必要であることを示す。

・材種・等級は表示を確認し、外観・寸法検査は日本農林規格に準じて行う。

・含水率やヤング係数は刻印された表示の確認を原則とし、全乾重量法や動的曲げ試験は公的試験場にて行う。含水率計は住木センター認定品を、曲げヤング係数は全国木材組合連合会の認定品を用いて測定することを原則とする。

・全乾重量法や静的曲げ試験は1荷印につき確認する試験本数を示す。試験体は実際に使用する同一部材の中から抽出し、木材の試験方法 JIS Z 2101 ）に準ずる。

・動的曲げ試験の判定基準は日本農林規格の針葉樹の構造用製材、合板、パネル、の強度区分材に準ずる。

☐含水率測定は、乾燥作業直接に行う。

（2）構造用集成材、構造用単板積層材（LVL）

材 料	確認項目	確認の方法
構造用集成材	部材、断面、長さ、数量 樹種、品名、強度、材面の品質、接着性能、ホルムアルデヒド放散量	☐ 製造工場の認定書等の写し
構造用LVL	部材、断面、長さ、数量 樹種、曲げヤング係数、水平せん断、接着性能、ホルムアルデヒド放散量	☐ 日本農林規格（JAS）表示の確認
構造用合板	寸法、数量 強度、曲げ性能、板面の品質、接着耐久性、ホルムアルデヒド放散量	☐ 立会い目視検査
構造用パネル	寸法、数量 強度、ホルムアルデヒド放散量	

（3）ファスナー

ファスナーの種類	確認項目	確認の方法
☐ くぎ	・材質、胴・頭径部、長さ、仕上げ	☐ ミルシートの写し
☐ 木ネジ類	・材質、径、長さ、仕上げ	☐ 表示の確認
☐ ボルト・ナット	・材質、径、長さ、仕上げ	☐ 木栓曲げ試験
☐ 座金	・材質、径、仕上げ	
☐ ドリフトピン	・材質、径、長さ、仕上げ	
☐ コーチスクリューボルト	材質、径、長さ、仕上げ	
☐ スプリットリング	・材質、径、形状、仕上げ	
☐ シアプレート	・材質、径、形状、仕上げ	
☐ 木栓など	・樹種、曲げ強度、比重	

・設計図書に明記されたファスナーであることを確認すること。同等性能のファスナーを用いる場合には、その主旨を監理者に申し出、承諾を得ること。また必要に応じて立会いによる性能確認を実施する。

（4）接合金物

接合金物	確認項目	確認の方法
☐ Zマーク金物	・材質、形状、仕上げ	☐ ミルシートの写し
☐ Cマーク金物	・材質、形状、仕上げ	☐ 表示の確認
☐ 引き寄せ金物	・材質、形状、仕上げ	
☐ その他の金物	・材質、形状、仕上げ、製造所	
☐ 鋼材	・材質、形状、仕上げ、溶接	

・設計図書等に明記された接合金物であることを確認する。同等認定品や性能認定品を用いる場合には、その内容を監理者に申し出、承諾を得る。

4. 耐久性（防腐・防蟻・耐候処理）

（1）木材の防腐・防蟻処理

・高耐久材の使用（注：製材の心材あるいは心持ち材又は集成材）

・工場処理材（注：現場の加工、切断、穿孔箇所等は、現場処理に準じる）

JAS保存処理材：K5 K4 ☒ K2

AQ認証保存処理材：1種 2種 3種

・現場処理（注：給排水用塩化ビニル管に接する部分は、管を保護する）

・塗布 ・吹付 ・浸漬（処理量300²m、一処理回数2回）

日本しろあり対策協会または日本木材保存協会の認定品とする

使用部位	高耐久材	工場処理剤	現場処理剤
土台	☐	☐ K3 ☐ () ☐ 塗布	
外周柱下部1m	☐	☐ K3 ☐ () ☐ ()	
水周り	☐ ()	☐ K3 ☐ () ☐ ()	
その他	☐ ()	☐ K4 ☐ () ☐ ()	

（2）土壌処理

☐防蟻薬剤による処理：薬剤（ ）

特記無き場合は、日本しろあり対策協会または日本木材保存協会認定品、あるいはこれと同等以上の効力を有するものとする。

☐防蟻薬剤による処理と同等以上の対策（ ）

☐土壌処理省略 ☐北海道 ☐東北 ☐北陸

注：処理範囲は、外周部基礎の内側、内部部基礎の周辺20cm、東石等の周囲20cmを標準とし、処理方法は日本しろあり対策協会の標準仕様書に準じる。

（3）耐候処理（塗装）

☐造膜型、 ☐含浸型、 ・部位（ ）

5. 木材の加工

（1）刻み時の注意

製材に背割りのある場合、曲げ材は断面の弱軸と背割りの方向を一致させる。

（2）加工寸法の精度（下記の値を標準とする）

・構造用製材、枠組み壁工法用構造製材の断面寸法

☐ 図面表示が挽き立て寸法の場合： ±1.5mm以下

☐ 図面表示が仕上がり寸法の場合： +1.5mm、－0mm以下

・構造用製材、枠組み壁工法用構造製材の材長

☐ 軸組工法の継手仕口の場合： ±1.5mm以下

☐ ボルト接合法の場合： ±5mm以下

・集成材、構造用単板積層材

短辺： ☐ ±1.5mm

長辺： ☐ ±1.5%かつ±5mm以下

材長： ☐ ±5mm以下 ☐ ()

・ボルト穴径：d+1.5mm（d≦M12）、d+2.0mm（d≧M16）（dはボルト径）

・ドリフトピンの穴径：d±0mm（dはボルト径）

（3）表面仕上げ

☐製材 化粧材： 野物材： 板材：

（4）面取り

☐柱：() mm

☐梁：() mm

6. 接合

（1）仕口、継手の原則

・仕口、継手の方法は構造図による。特記無き場合は 1. （3）標準仕様書に示された在来工法用の一般的な適用慣例に従う。一般的な適用慣例については、9. 軸組構法接合部標準仕様による。

・採用する方法は監理者の承諾を得る。

・仕口、継手の各部に作用する応力を考慮し、部材の引き抜けが生じないように、原則として羽子板ボルトや木栓など、引張り抵抗を誇る補強部材を併用する。

（2）釘接合

・釘は材の繊維に対して乱に打ち、割れを生じないように端距離、縁距離、釘間隔を大きく取る。

・釘の長さは材厚の2. 5倍以上とする。

・1ヶ所の釘の本数は2本以上とする。

・釘に錆を生じるおそれのある場合は、適切な防錆処理を施す。

・自動釘打ち機を使用する場合は、面材に釘がめり込まないようにする。そのために、釘打ち機の圧力を弱めるか、最後は手打ちを用いるなどの方法による。

・構造用面材を耐力壁とする場合の釘打ち方法は「昭和56年建設省告示1110号」による。

・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。

・小口面に打たれた釘は、引き抜き方向に抵抗させることはできない。

（3）木ネジ接合

・構造耐力上主要な部分において、木ネジを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。

・小口面にねじ込まれた木ネジは、引抜き方向に抵抗させることはできない。

・木ネジの先孔の径：針葉樹・・・主材0.6d、側材0.8d
dはボルト径
広葉樹・・・主材0.8d、側材1.0d
（先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2／3程度とする。）

・ねじ込みには適切な道具を使い、ハンマーなどで打ち込んではいらない。

・ねじ込みを容易にしたり、損傷させないために潤滑油を用いてもよい。

（4）ボルト接合

・締め付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適しているものであることを確認する。

・ボルト接合部付近に節・目切れなどの欠点がある場合は、ボルト本数を適切に増加する。

・ボルトの締め付けは、座金が部材にめり込む程度とし、めり込み音が発生した時点で締め付けを完了する。

・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。

・一度締め付けたボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

（5）コーチスクリュー接合

・構造耐力上主要な部分において、コーチスクリューを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。

・コーチスクリューの配置間隔、縁距離および端距離、使用する座金は同じ胴部径のボルトに準ずる。

・胴部の先孔の径は胴部と同径とし、長さも胴部と同寸とする。

・ネジ部の先孔の径：比重0.4以上の樹種・・・ネジ径の60～70%
その他の樹種・40/70・・・ネジ径の ～ %
（長さはネジ部の長さと同寸とする。）

・コーチスクリューは先孔にレンチなどで回しながら挿入し、ハンマーなどで打ち込んではいらない。

・ねじ込みを容易にするためや、損傷させないために潤滑油を用いてもよい。

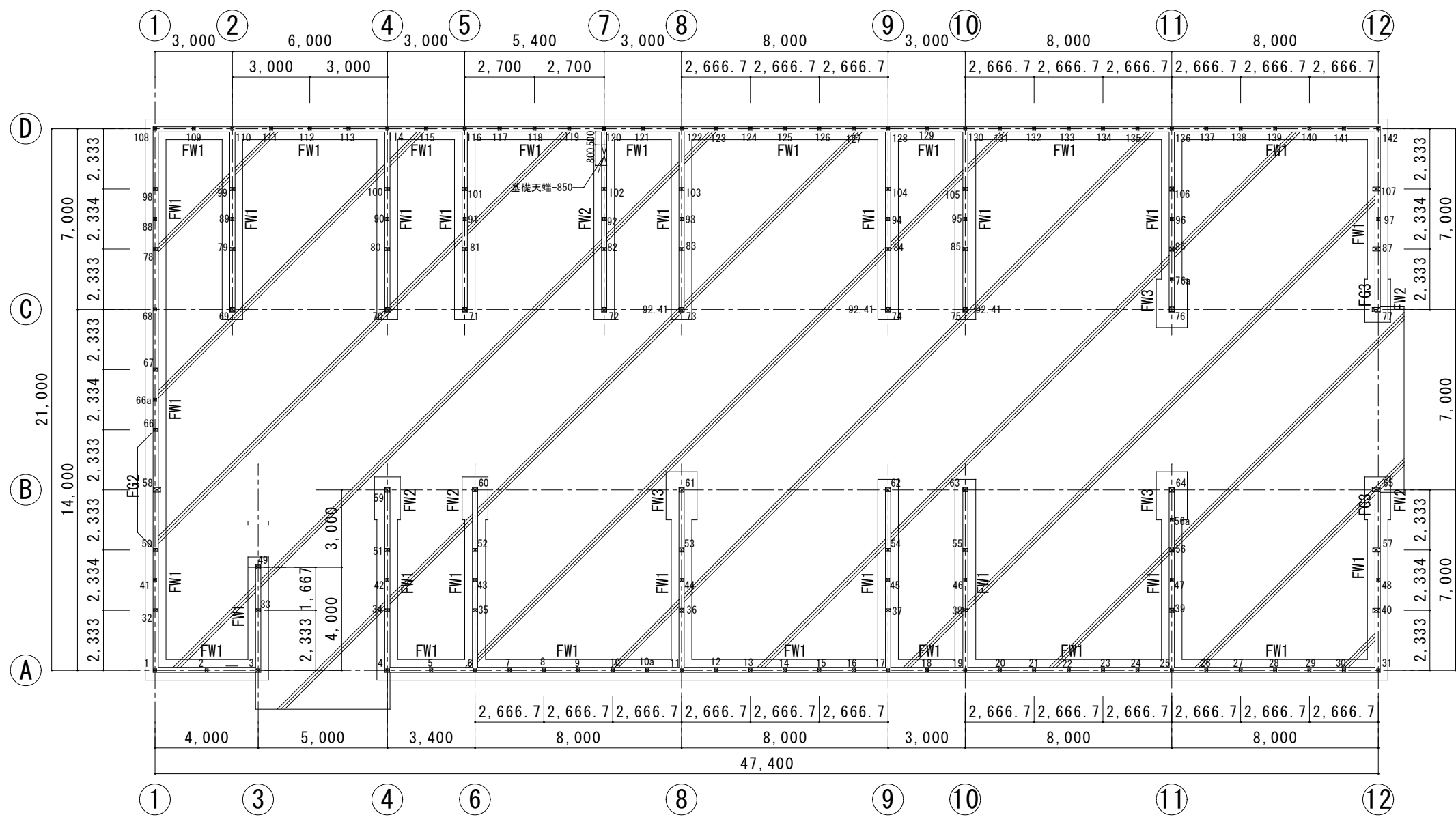
（6）ドリフトピン接合

・ボルトやコーチスクリュー等と併用し、ドリフトピンの変形にともなう部材の開きを防止する。

・ドリフトピンは孔に密着させる。

・一度締め付けた併用ボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

工事名称	テルス株式会社日之出事業所堆肥化施設新築工事	SCALE	日付	NO.
図面名称	木質工事特記仕様書（1）	1/50	R07. 06	
寒河江設計 一級建築士事務所登録 山形県知事（1212）第2117号 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒河江秀憲		作図建築士 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒河江秀憲		S-03
その他の設計士				

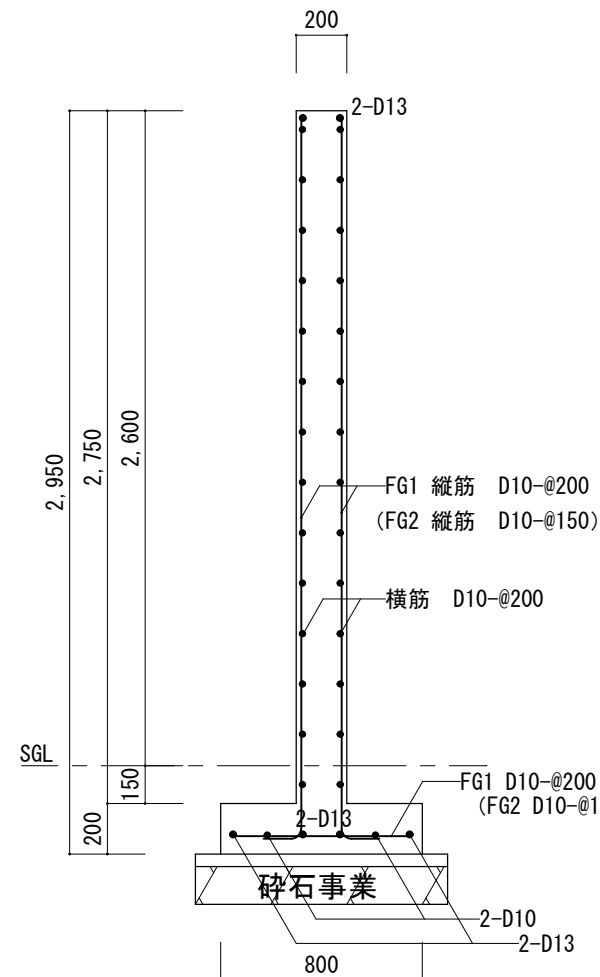


基礎伏図 S=1/200

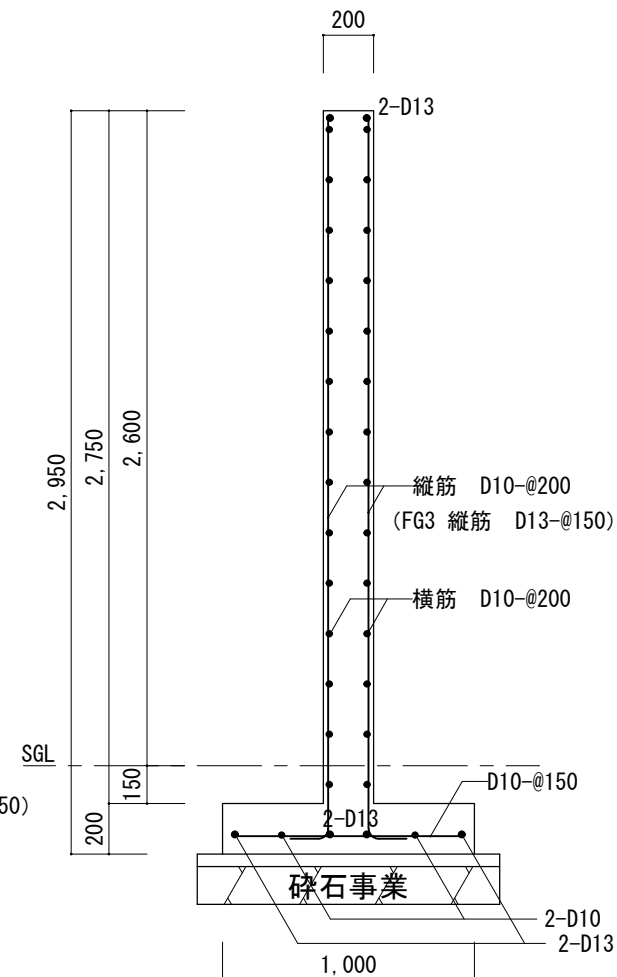
特記事項 設計用地盤耐力 $f_e=100\text{kn/m}^2$
特記無き梁はFG1とする

工事名称	テルス株式会社日之出事業所堆肥化施設新築工事		SCALE	日付	N O.
図面名称	基礎伏図		1/200	R07. 06	S-05
寒 河 江 設 計			作図建築士		
一級建築士事務所登録 山形県知事 (1212) 第2117号			一級建築士 大臣 登録 257783 号		
一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲			寒 河 江 秀 憲		
その他の設計士					

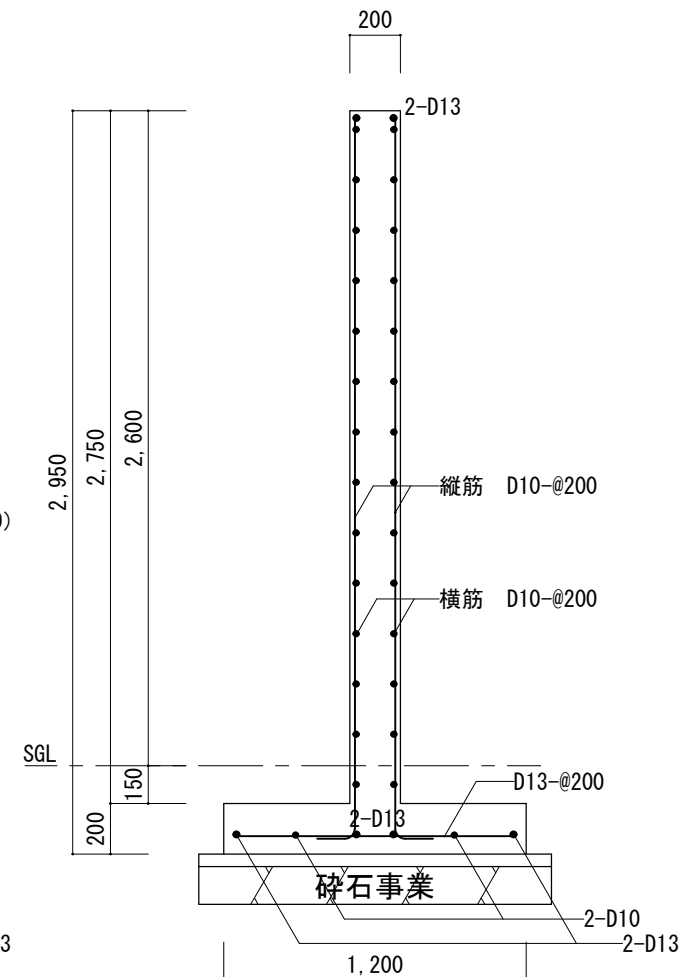
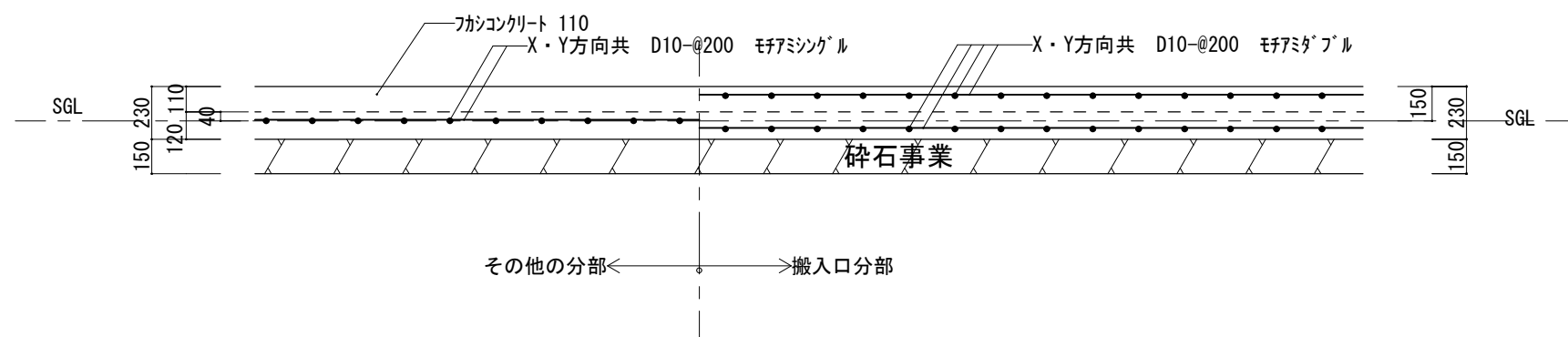
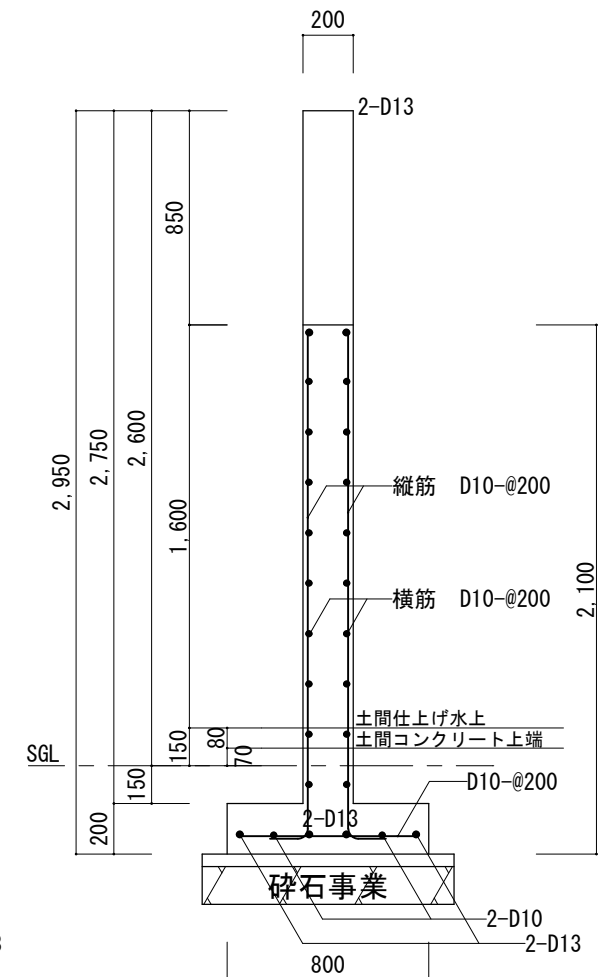
FW1 S=1/30



FW2 S=1/30

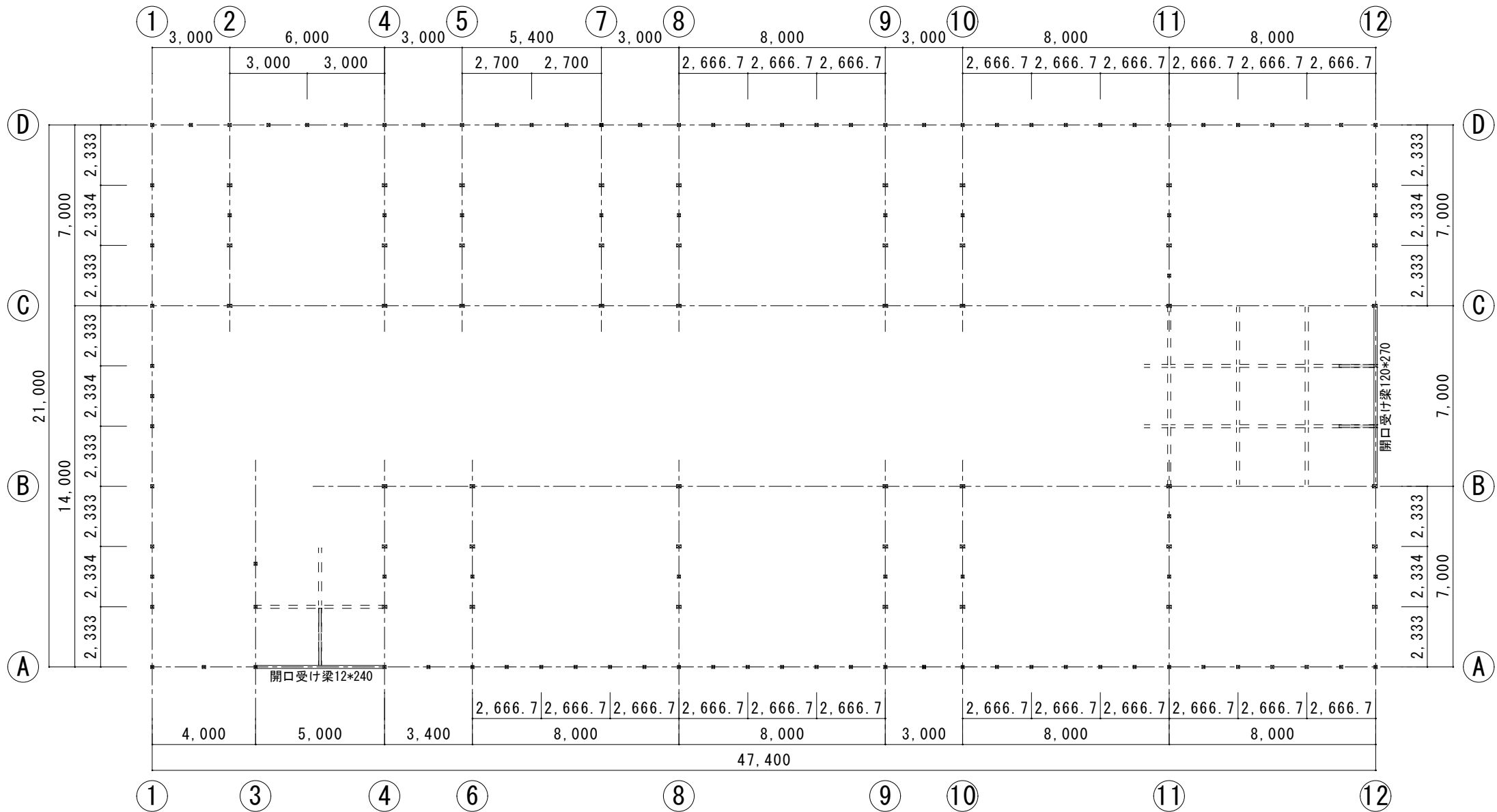


FW3 S=1/30

FW1a S=1/30
ヘルコンバア通過部分

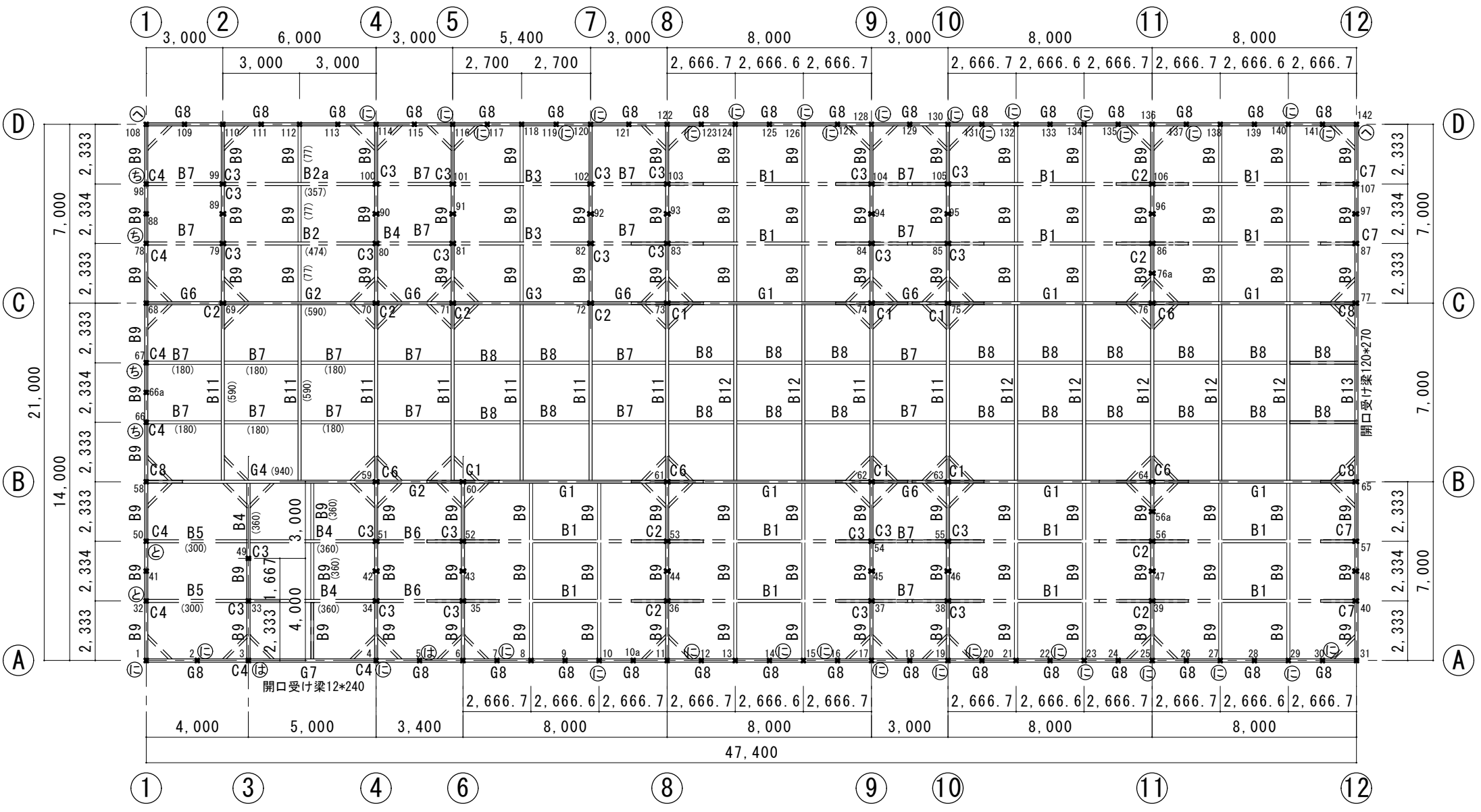
土間コンクリート配筋図 S=1/30

工事名称	テルス株式会社日之出事業所堆肥化施設新築工事	SCALE	日付	N.O.
図面名称	基礎配筋図	1/30	R07. 06	S-06
寒河江設計 一級建築士事務所登録 山形県知事 (1212) 第2117号 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒河江秀憲		作図建築士 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒河江秀憲		
その他の設計士				



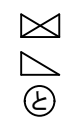
開口部受梁伏図 S=1/200

部材リスト		
符号	寸法	材質・等級
G1	150*720	E120-F330
G2	150*650	E120-F330
G3	150*550	E120-F330
G4	150*850	E120-F330
G5	150*650	E120-F330
G6	150*210	E120-F330
G7	120*330	E120-F330
G8	120*150	米松/無等級
B1	120*550	E120-F330
B2	120*500	E120-F330
B2a	150*430	E120-F330
B3	120*450	E120-F330
B4	120*420	E120-F330
B5	120*360	米松/無等級
B6	120*300	米松/無等級
B7	120*240	米松/無等級
B8	120*210	米松/無等級
B9	120*120	米松/無等級
B11	120*650	E120-F330
B12	120*600	E120-F330
B13	120*480	E120-F330
C1	150*180	E120-F330
C2	150*150	E120-F330
C3	120*180	杉/無等級
C4	120*150	杉/無等級
C5 特記なき柱	120*120	杉/無等級
C6	180*180	E120-F330
C7	150*270	E120-F330
C8	180*270	E120-F330
開口部受(西)	120*270	E120-F330
開口部受(北)	120*240	E120-F330
火打梁	90*90	米松/無等級
方杖	105*105	杉/無等級
小屋束	105*105	杉/無等級
母屋	105*105	米松/無等級
筋違シングル	45*90	杉/無等級
筋違ダブル	45*90	杉/無等級



梁伏図 S=1/200

凡 例

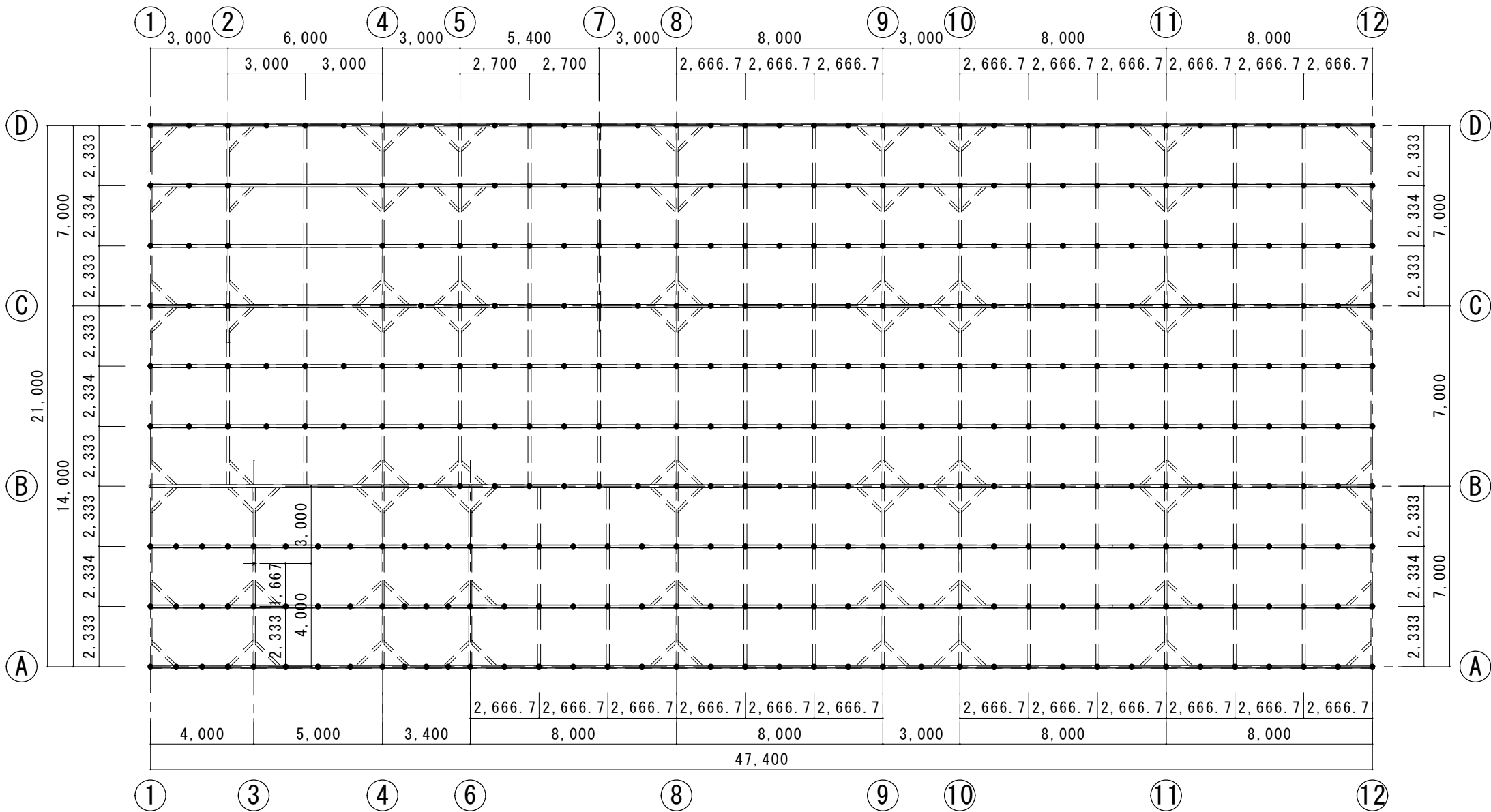


土台 特記無き土台 120*120（桧材）を示す
筋違 45*90（杉） ダブルを示す
筋違 45*90（杉） シングルを示す
告示1460号第2号に対応した柱金物を示す

（ ）内数値は基準軒高からの上りを示す。
図面内の数字は柱番号を示す

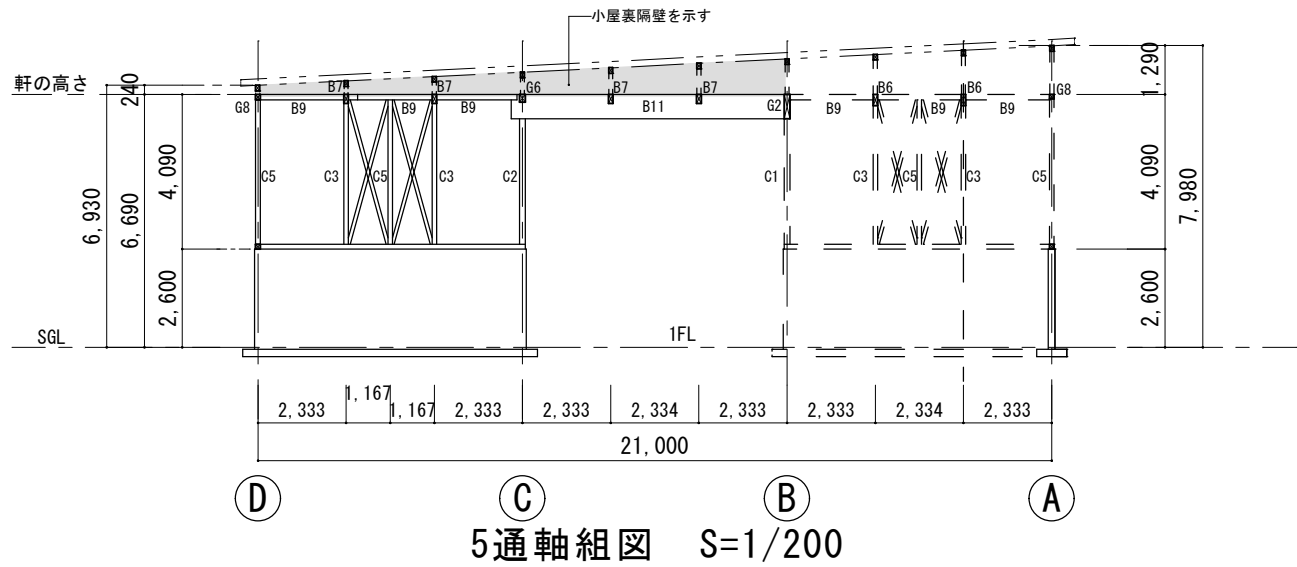
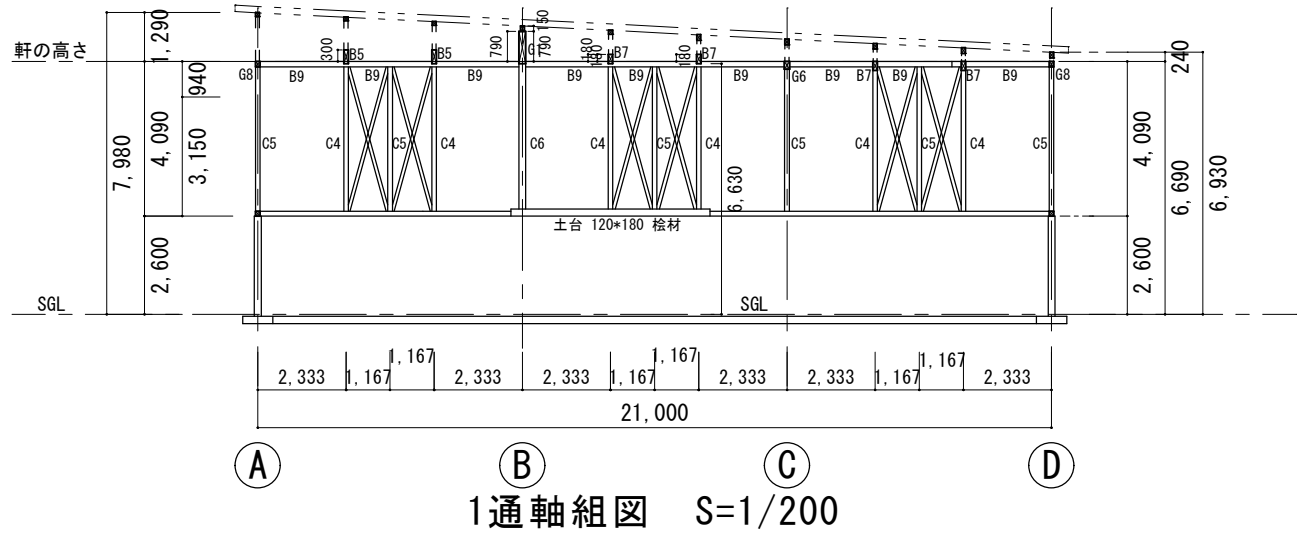
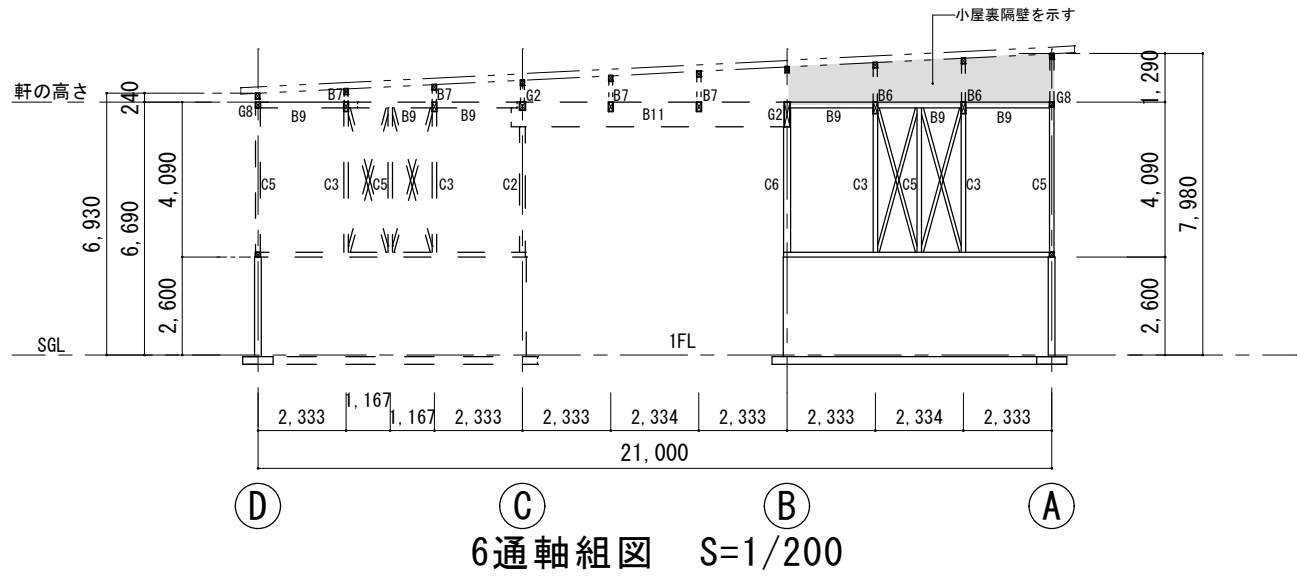
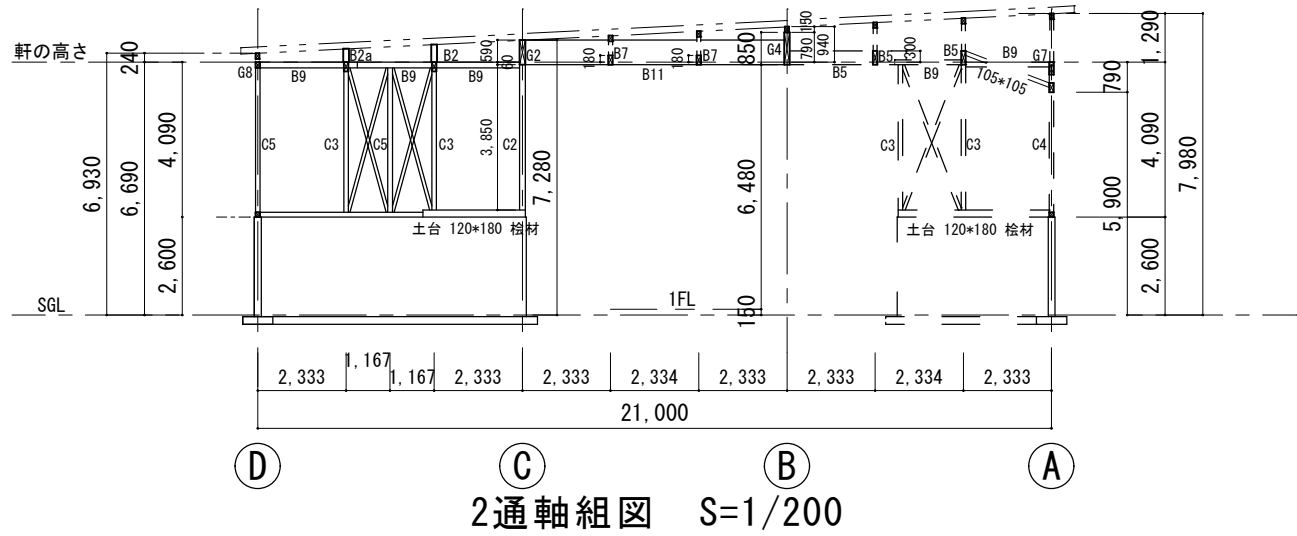
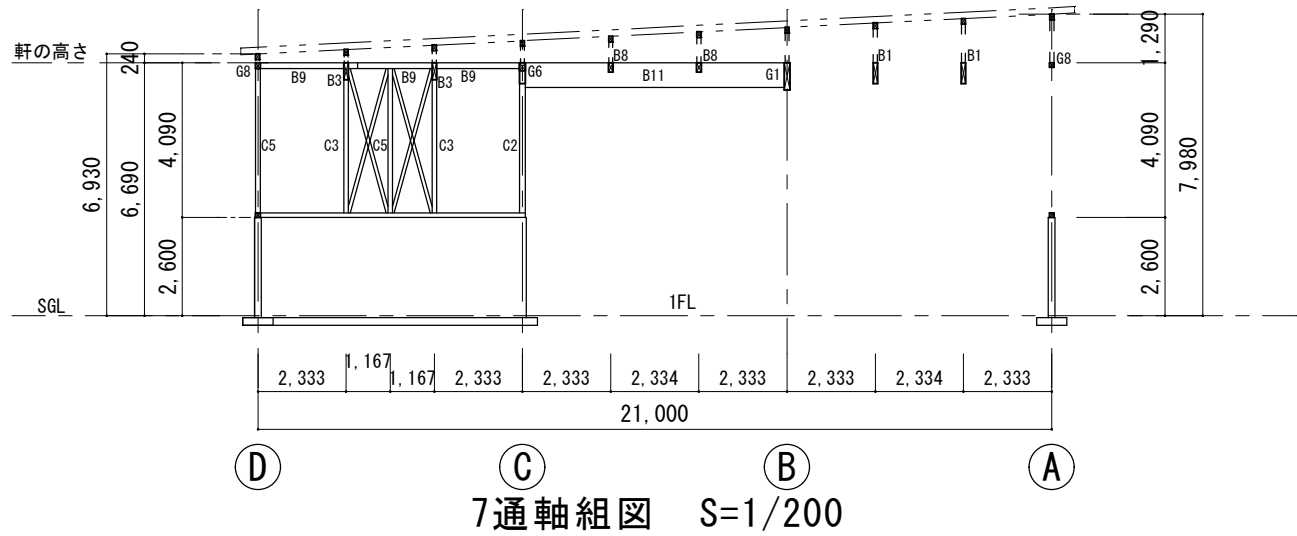
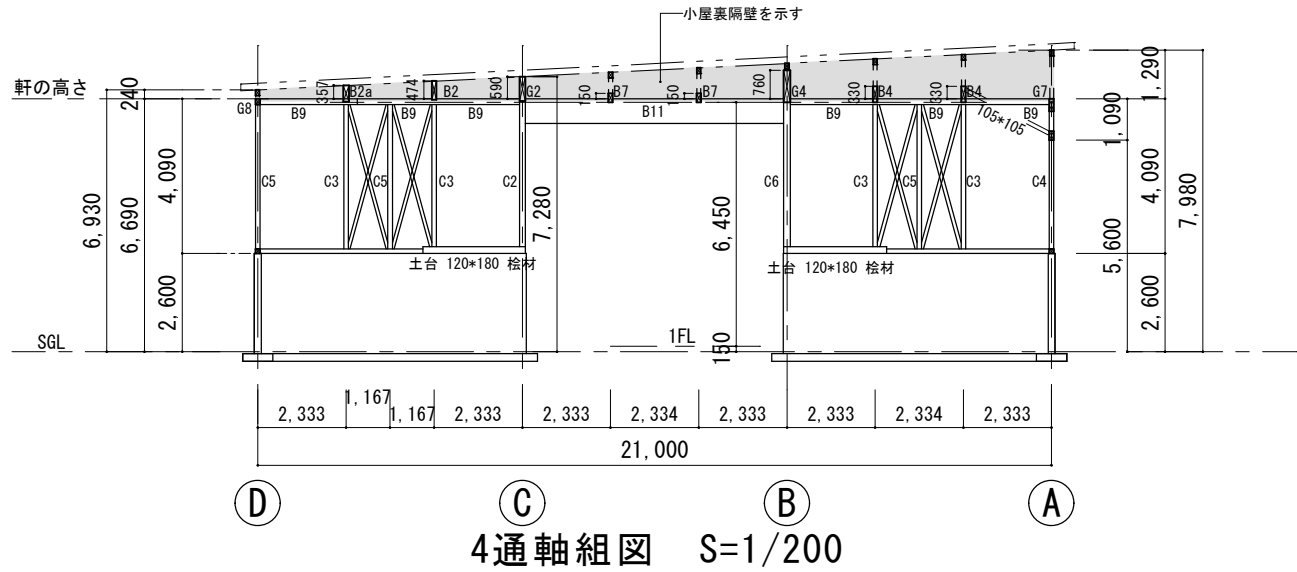
部材リスト		
符号	寸法	材質・等級
G1	150*720	E120-F330
G2	150*650	E120-F330
G3	150*550	E120-F330
G4	150*850	E120-F330
G5	150*650	E120-F330
G6	150*210	E120-F330
G7	120*330	E120-F330
G8	120*150	米松/無等級
B1	120*550	E120-F330
B2	120*500	E120-F330
B2a	150*430	E120-F330
B3	120*450	E120-F330
B4	120*420	E120-F330
B5	120*360	米松/無等級
B6	120*300	米松/無等級
B7	120*240	米松/無等級
B8	120*210	米松/無等級
B9	120*120	米松/無等級
B11	120*650	E120-F330
B12	120*600	E120-F330
B13	120*480	E120-F330
C1	150*180	E120-F330
C2	150*150	E120-F330
C3	120*180	杉/無等級
C4	120*150	杉/無等級
C5	120*120	杉/無等級
特記なき柱		
C6	180*180	E120-F330
C7	150*270	E120-F330
C8	180*270	E120-F330
開口部受(西)	120*270	E120-F330
開口部受(北)	120*240	E120-F330
火打梁	90*90	米松/無等級
方杖	105*105	杉/無等級
小屋束	105*105	杉/無等級
母屋	105*105	米松/無等級
筋違シングル	45*90	杉/無等級
筋違ダブル	45*90	杉/無等級

工事名称	テルス株式会社日之出事業所堆肥化施設新築工事		SCALE	1/200	日付	R07. 06	N O.
図面名称	梁 伏 図						S-09
寒 河 江 設 計			作図建築士				
一級建築士事務所登録 山形県知事 (1212) 第2117号 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲			一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲				
その他の設計士							

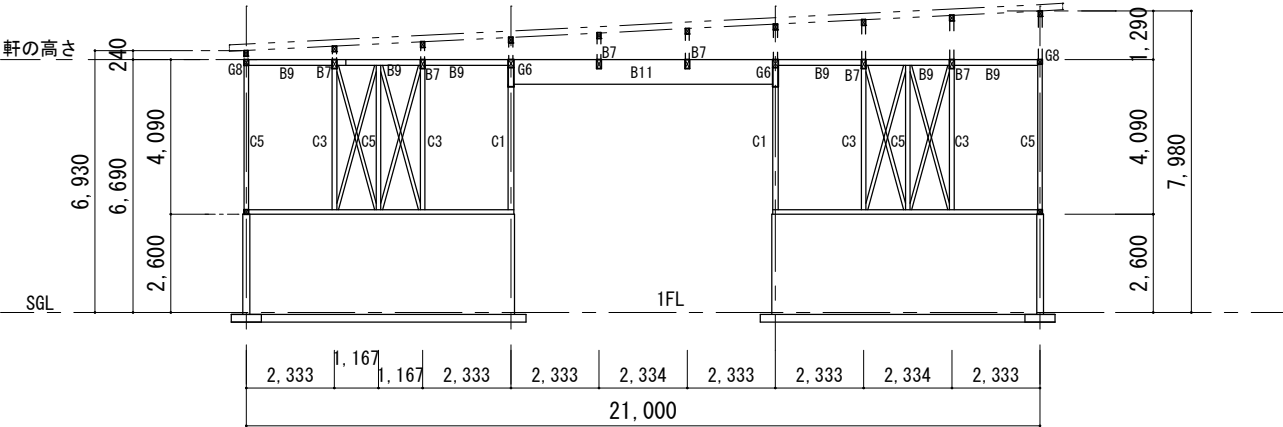


小屋伏図 S=1/200

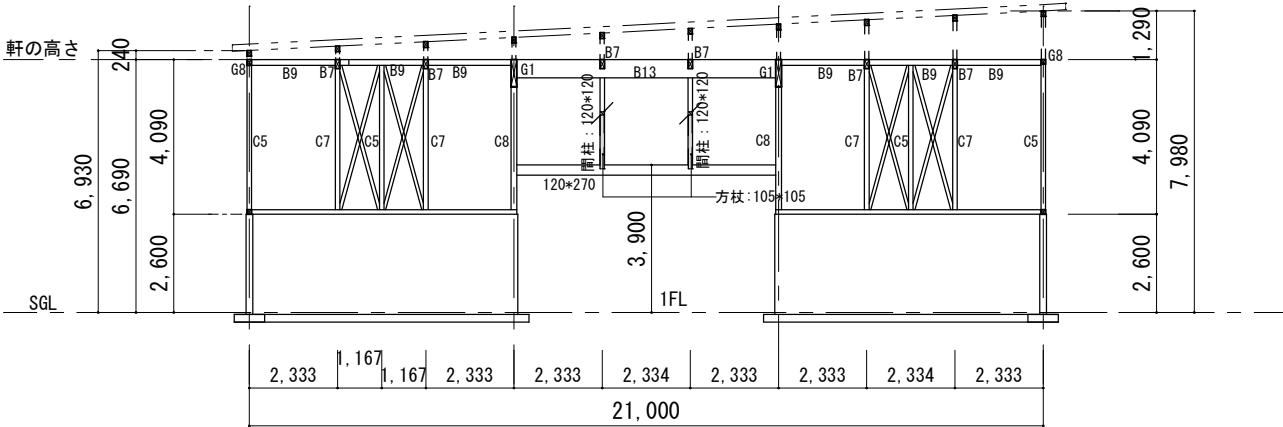
部材リスト		
符号	寸法	材質・等級
G1	150*720	E120-F330
G2	150*650	E120-F330
G3	150*550	E120-F330
G4	150*850	E120-F330
G5	150*650	E120-F330
G6	150*210	E120-F330
G7	120*330	E120-F330
G8	120*150	米松/無等級
B1	120*550	E120-F330
B2	120*500	E120-F330
B2a	150*430	E120-F330
B3	120*450	E120-F330
B4	120*420	E120-F330
B5	120*360	米松/無等級
B6	120*300	米松/無等級
B7	120*240	米松/無等級
B8	120*210	米松/無等級
B9	120*120	米松/無等級
B11	120*650	E120-F330
B12	120*600	E120-F330
B13	120*480	E120-F330
C1	150*180	E120-F330
C2	150*150	E120-F330
C3	120*180	杉/無等級
C4	120*150	杉/無等級
C5	120*120	杉/無等級
特記なき柱	120*120	杉/無等級
C6	180*180	E120-F330
C7	150*270	E120-F330
C8	180*270	E120-F330
開口部受(西)	120*270	E120-F330
開口部受(北)	120*240	E120-F330
火打梁	90*90	米松/無等級
方杖	105*105	杉/無等級
小屋束	105*105	杉/無等級
母屋	105*105	米松/無等級
筋違シングル	45*90	杉/無等級
筋違ダブル	45*90	杉/無等級



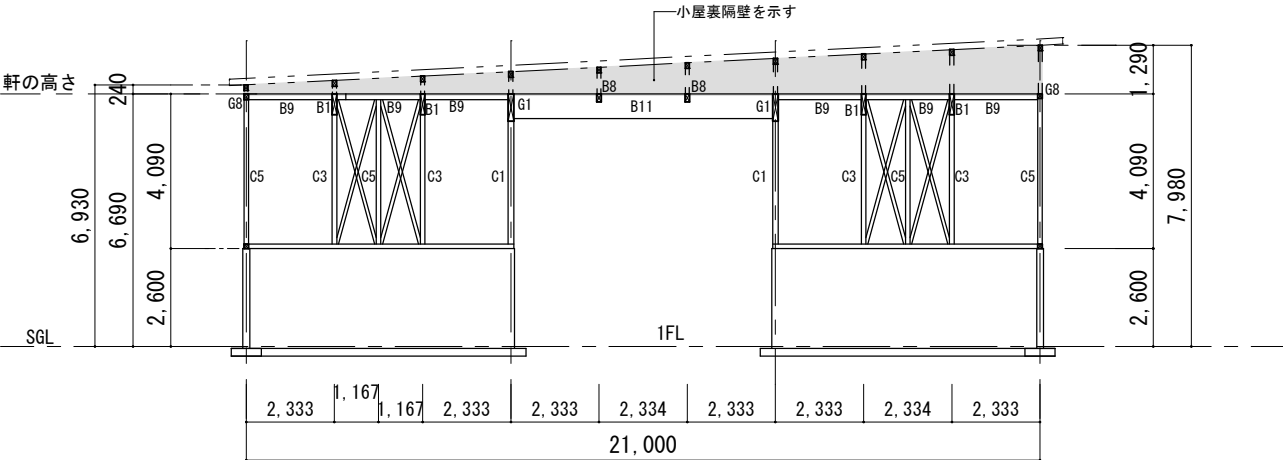
工事名称	テルス株式会社日之出事業所堆肥化施設新築工事			SCALE	日付	N.O.
図面名称	軸組図 1			1/200	R08. 03	S-11
寒河江設計				作図建築士		
一級建築士事務所登録 山形県知事 (1212) 第2117号				一級建築士 大臣 登録 257783 号		
一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒河江秀憲				寒河江秀憲		
その他の設計士						



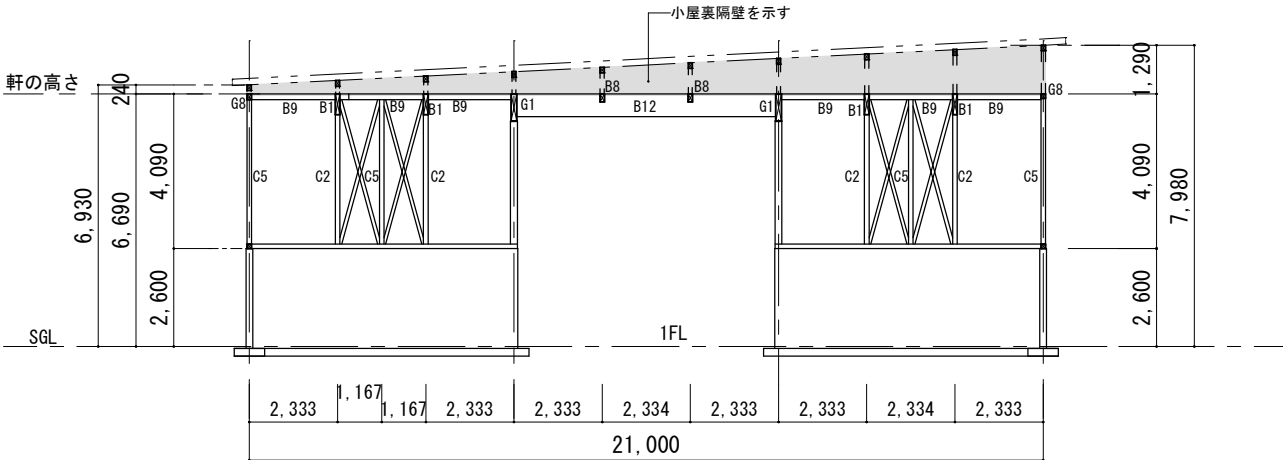
10通軸組図 S=1/200



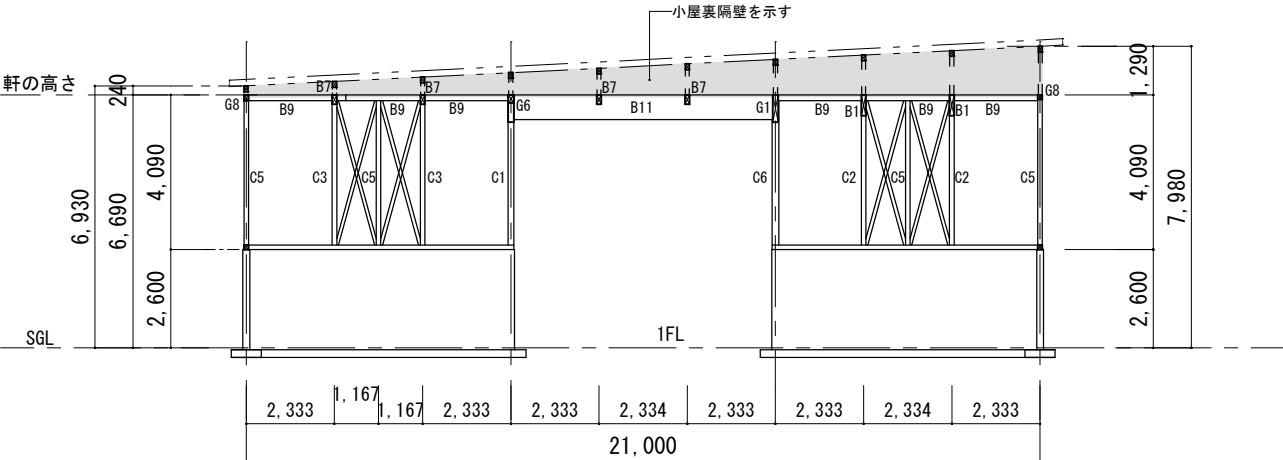
12通軸組図 S=1/200



9通軸組図 S=1/200

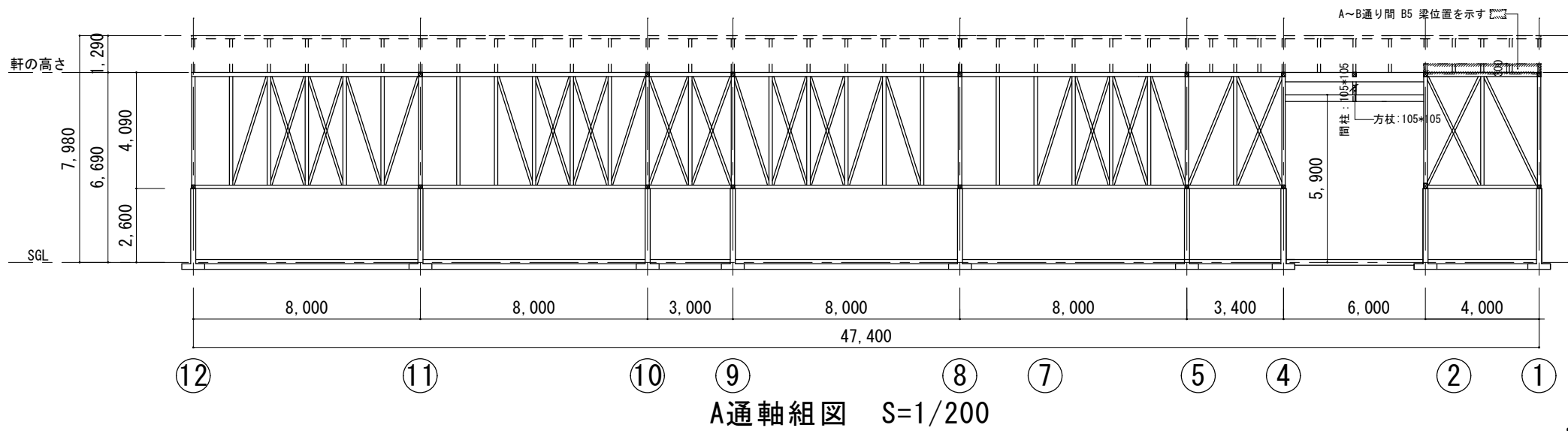
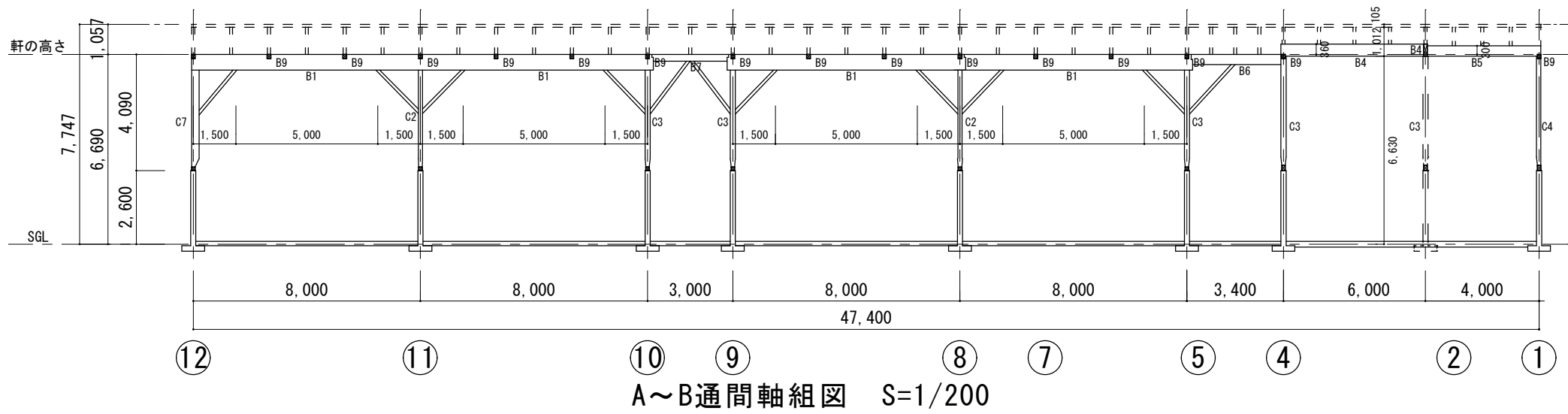
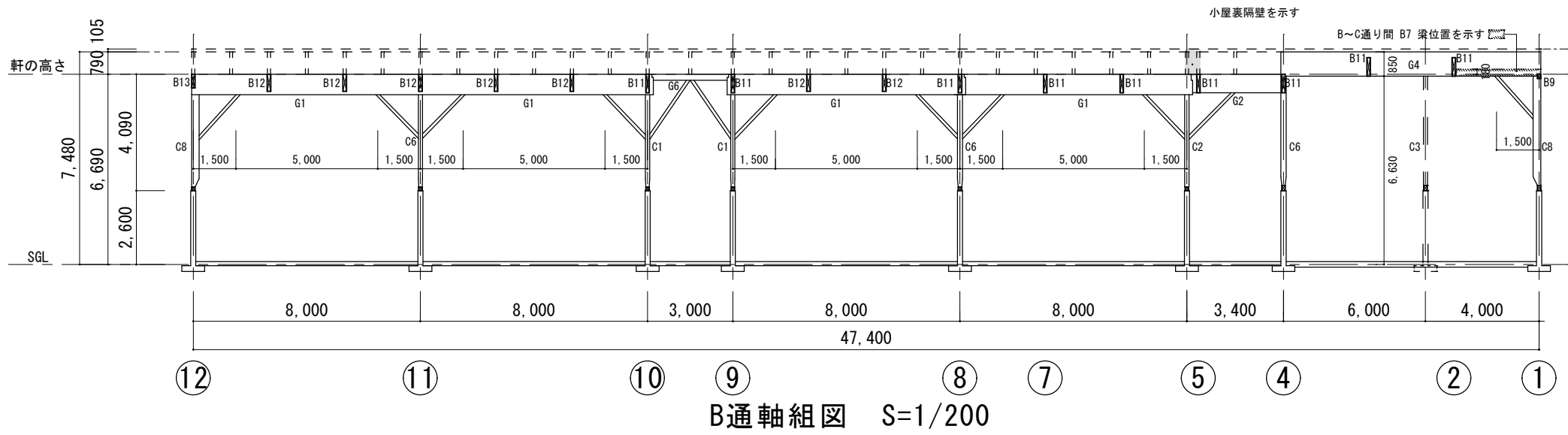


11通軸組図 S=1/200

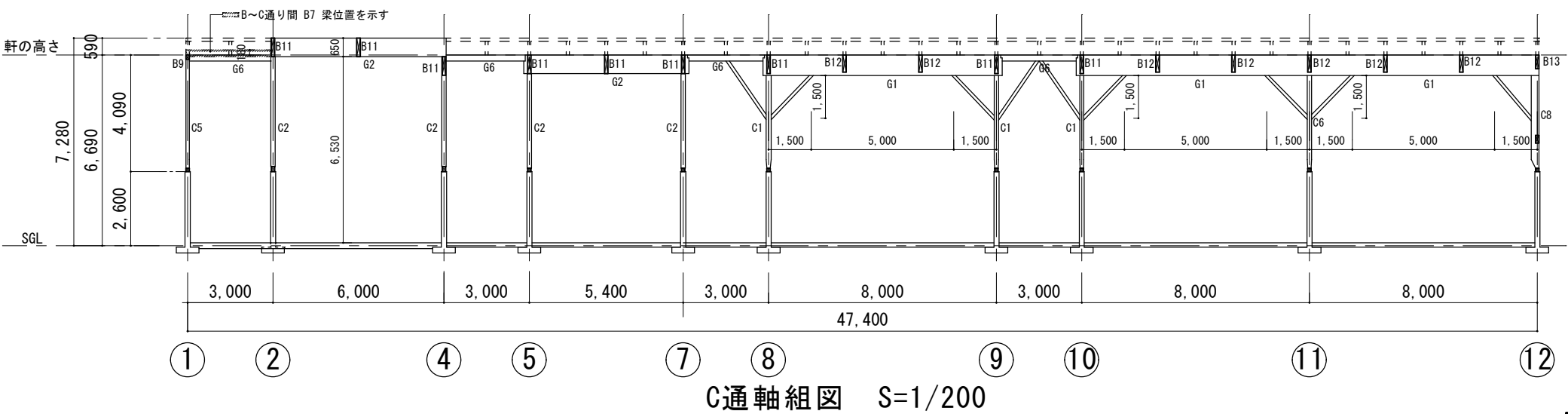
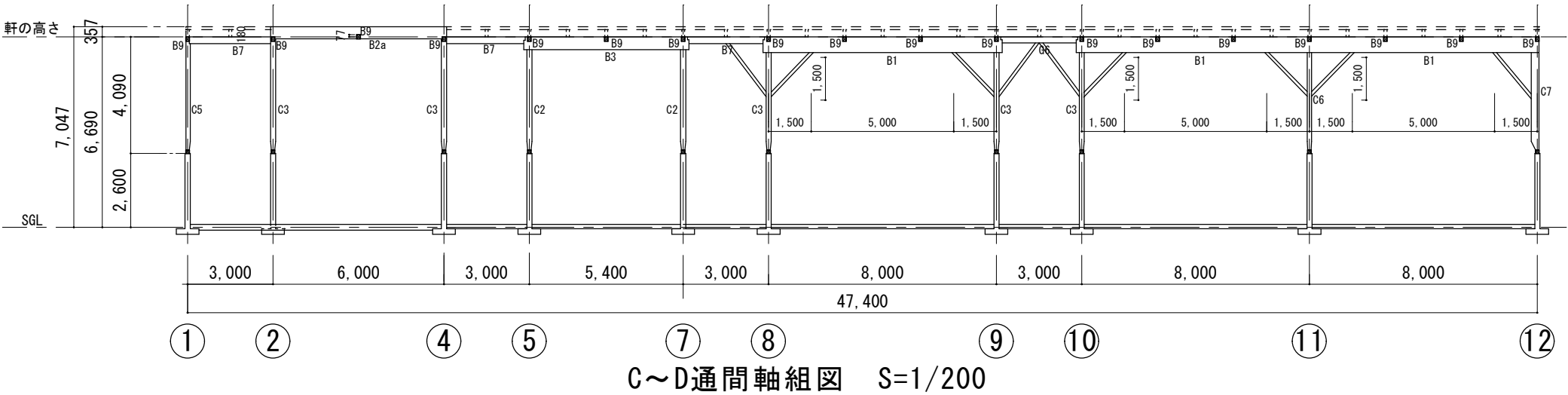
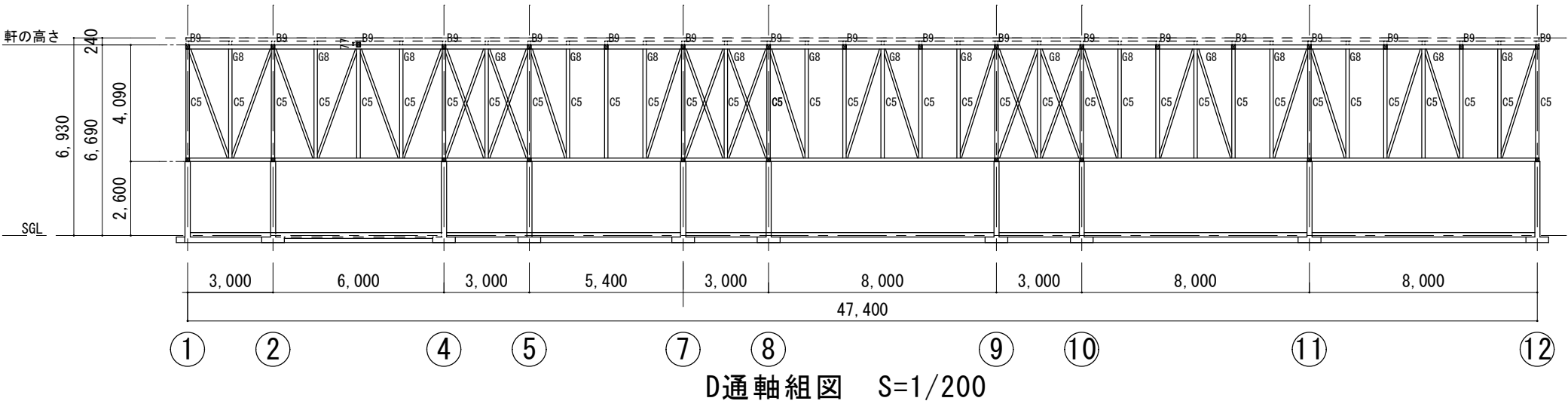


8通軸組図 S=1/200

工事名称	テルス株式会社日之出事業所堆肥化施設新築工事		SCALE	日付	N O . S-12
図面名称	軸 組 図 2		1/200	R08. 03	
寒 河 江 設 計 一級建築士事務所登録 山形県知事 (1212) 第2117号 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲			作図建築士 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲		
その他の設計士					



工事名称	テルス株式会社日之出事業所堆肥化施設新築工事			SCALE	日付	N O .
図面名称	軸 組 図 3			1/200	R08. 03	
寒 河 江 設 計 一級建築士事務所登録 山形県知事 (1212) 第2117号 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲				作図建築士 一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒 河 江 秀 憲		
その他の設計士						



工事名称	テルス株式会社日之出事業所堆肥化施設新築工事	SCALE	1/200	日付	R08. 03	NO.	S-14
図面名称	軸組図 4						
寒河江設計		作図建築士					
一級建築士事務所登録 山形県知事 (1212) 第2117号		一級建築士 大臣 登録 257783 号					
一級建築士 大臣 登録 257783 号 寒河江秀憲		寒河江秀憲					
その他の設計士							